

アカデミックリーダ教育院、プロダクティブリーダ教育院
共通科目 @ 大岡山S223
水曜日5-6限(13:20～14:50)

博士キャリアデザインⅡ：

ー 第7回:全体の纏め

キャリア実現(そのためにすべきこと) ー

東京工業大学大学院 IIDP

羽鳥 好律

平成28年5月25日

授業評価アンケートへの協力について

- 授業評価アンケートに協力をお願いします。
- マークシート裏面のアンケートの趣旨を読んでもください。
- 用紙の左側にある「申告番号」「複数教員連番」は今回使用しません。
- 記入時間中に並行して出席表を回収します。
- 回答終了後、入り口の箱に入れて帰ってください。

ご苦劳様でした。

本講義(博士キャリアデザインⅡ)全体の流れ

●第1回:6月14日

- ・総論。本講義の流れと評価方法。課題(参考)図書の紹介と演習課題の説明。

●第2回:6月21日

- ・キャリアの「継続的な自己形成」の時代。「自分の小さな「鳥かご」から飛び出さない」

●第3回:6月28日

- ・アカデミアにおけるキャリア1。「理系のための研究生活ガイド」

●第4回:7月5日

- ・アカデミアにおけるキャリア2。「研究人生サバイバルガイド」

●第5回:7月12日

- ・企業の研究開発と大学の研究(・開発)1。「理系のためのキャリアデザイン戦略的就活術」〔第1回演習課題提出締切日〕

●第6回:7月19日

- ・企業の研究開発と大学の研究(・開発)2。「検証なぜ日本の科学者は報われないのか」

●第7回:7月26日

- ・全体の纏め。キャリア実現(そのためにすべきこと)
〔第2回演習課題提出締切日〕



参考:博士キャリアデザインⅡ 評価例

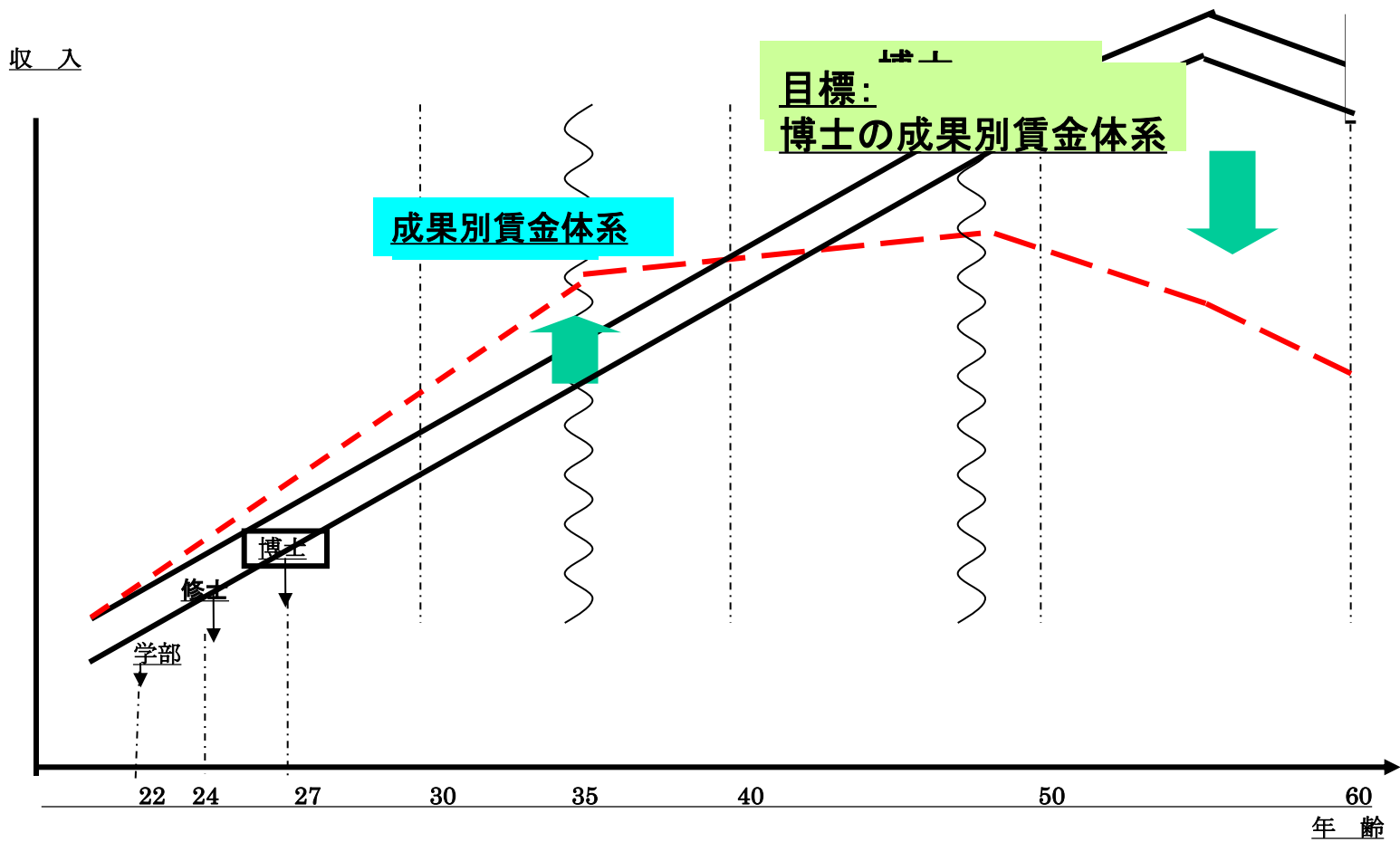
H28年度前期 博士キャリア デザインⅡ					第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第1回 演習課 題提出	第6回	第7回	第2回 演習課 題提出					備考
学籍 番号	氏名	研究 科等	専攻 等	学内 アド レス	4月 6日 (水) 13:20 ~ 14:50	4月 13日 (水) 13:20 ~ 14:50	4月 20日 (水) 13:20 ~ 14:50	4月 27日 (水) 13:20 ~ 14:50	5月 11日 (水) 13:20 ~ 14:50	5月 11日 (水) 14:50	5月 18日 (水) 13:20 ~ 14:50	5月 25日 (水) 13:20 ~ 14:50	5月 25日 (水) 14:50					
1		理工学	物質科学 専攻		1	1	1	1	1	17	1	1	20	7	63	37	100	
2		理工学	土木工学 専攻		1	1	1	1	1	13	1	1	16	7	63	29	92	
3		情報理工学	計算工学 専攻		1	1	1	欠	1	10	1	1	15	6	54	25	79	
4		総合理工学	人間環境 システム 専攻		1	1	1	欠	欠	10	欠	1	15	4	36	25	61	
5		総合理工学	物質電子 化学専攻		1	1	1	欠	欠	15	1	1	無	5	45	15	60	
6		総合理工学	材料物理 科学専攻		1	1	1	1	1	無	欠	欠	無	5	45	0	45	申告取 り消し 予定
7		総合理工学	化学環境 学専攻		欠	欠	欠	欠	欠	無	欠	欠	無	0	0	0	0	申告取 り消し

第7回講義の内容

0. 復習：就活関連情報の要約と補足

1. アカデミアのキャリア形成
2. 企業技術者・研究者のキャリア形成
3. おまけ；「アメリカの大学・ニッポンの大学」論考
4. 楽しい人生のためのキャリアデザイン

米国における解釈:学部・修士と博士の違い



修士の就活と博士のキャリアデザインの違い

□修士の就活

□ 就社

□ 4月一括採用

□ 個人のスキルや能力
vs.市場における制度

ム競争

□ 基本1年間、雇用安定

□ エントリーシート:自己PR
は性格やパーソナリティ

□博士のキャリア デザイン

□ 就職・就業

□ 不定期選抜/

□ トラックの拡充&開拓

□ 同じ研究者トラック内
での競争

□ 基本複数年、流動性

□ 履歴書:自分の能力、論文、
ポスドク経験、インターンシップ

就職氷河期 & リーマンショック

- 90年代初頭のバブル経済崩壊。
- 過剰な生産設備、過剰な債務、過剰な社員；過剰3兄弟
- 正社員の整理解雇のルールが厳しい
 - ー>「出口」に近い中高年 「希望退職」
新卒採用数の絞込み 「就職氷河期」
 - ー>「フリーター」が社会問題となる。
- 1990年代前半から2000年代前半までの就職氷河期。
- 「実感なき景気回復」
- 2008年秋、リーマンショック
 - 「年越し派遣村」「内定切り」
- 英国のEU離脱 + X?

倫理憲章
指針：8月⇒6月

就活を取り巻く論評の視点(2)

1. 教育社会学 日本における「大人」への移行メカニズム
学校から職業へのトランジション研究
2. フリータ問題、フリーターの分類
3. スキル・コンピーテンシー論

全体の把握は、鳥の目。
部分の把握は、虫の目。
流れの把握は、魚の目。

4. 市場における制度の役割を問う
就労希望者のマッチングシステム
4月1括採用の是非、通年採用、複数年みなし新卒制
雇用マッチングシステムの制度疲労
採用形態の変質
正規雇用・非正規雇用・非典型雇用
ライフサイクルかライフコースか(育児・介護・年金)

デジタル化による「競争価値基準」の パラダイム変化

- 企業における技術開発の世界でも、デジタル化という物作りの方法論の革新により技術の裾野が広がっている。
- 匠（アルチザン）の技の世界からアルチストのエスプリの世界へと「**競争の場の価値基準**」が変わりつつあるのではないか。
- **研究者もHowからWhat, Whyへのパラダイムの変化を認識する必要が生じている。**

第7回講義の内容

- 0. 復習：就活関連情報の要約と補足
- 1. アカデミアのキャリア形成
- 2. 企業技術者・研究者のキャリア形成
- 3. おまけ；「アメリカの大学・ニッポンの大学」論考
- 4. 楽しい人生のためのキャリアデザイン

Flow of career has changed

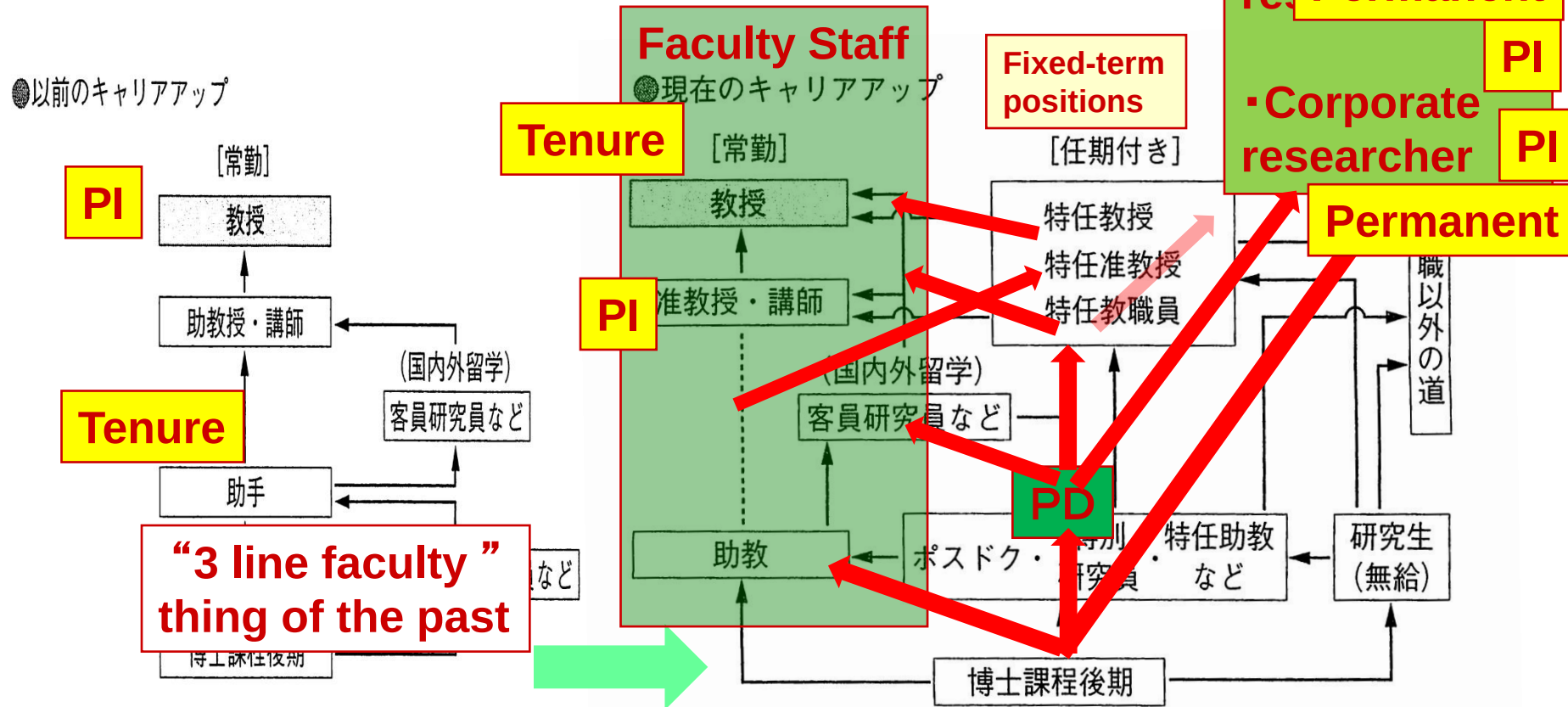


Fig.1-10 ポスドクの教職キャリアアップの流れ

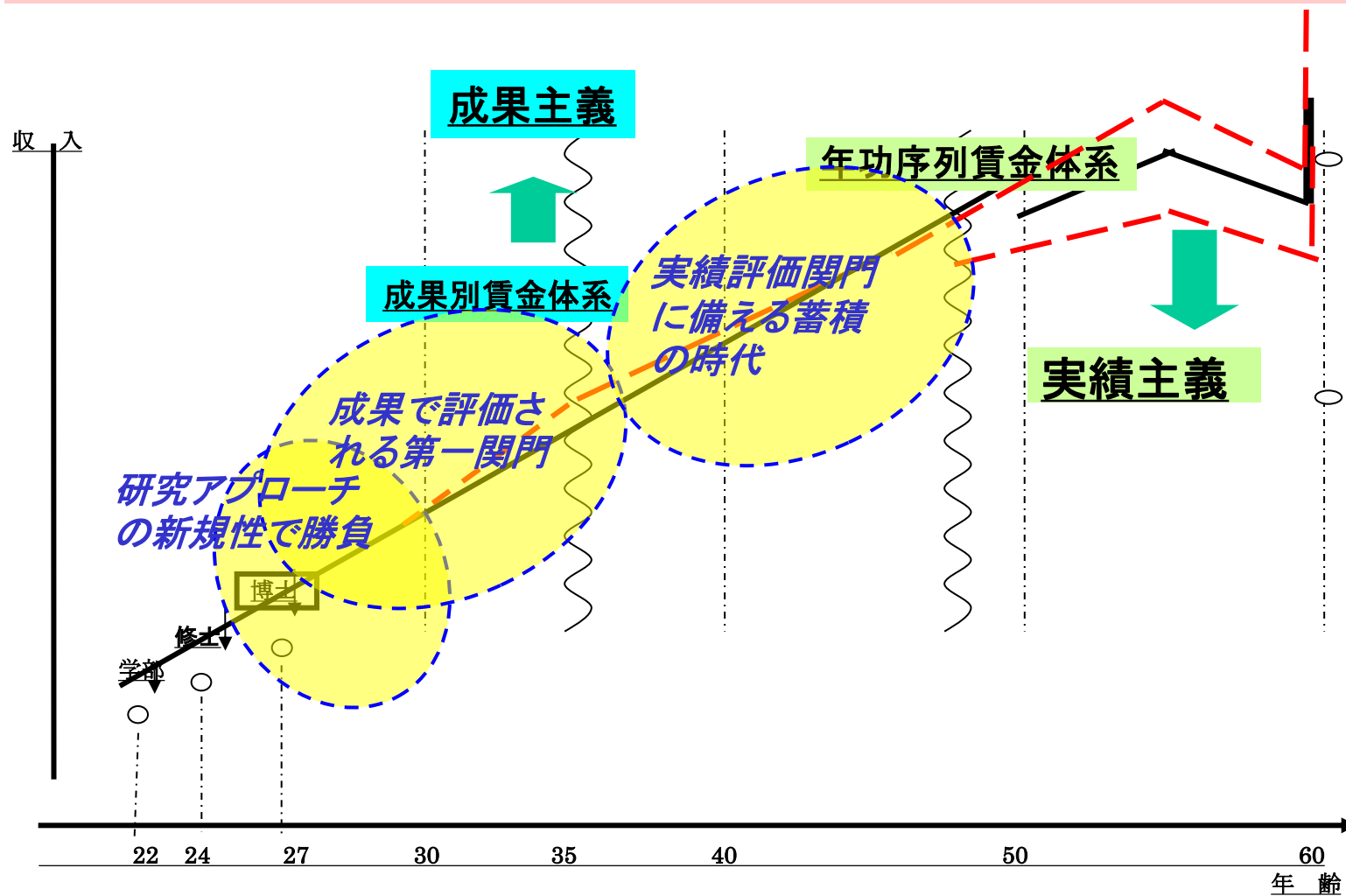
楽しくなければ成果はあがらない ＝ ごきげんな人

ガイド5 コミュニケーションのABC



アカデミアの「継続的な自己形成」の時代

(成果主義対応: 研究アプローチの新規性で勝負
=> 実績主義対応へ)



Economic backing

Scholarship

Salary type

Tuition exemption,
etc.

* () は全学生に占める対象者の割合

	大学院 修士課程	学生数：16.5 万人 (国立) 学生数：9.5 万人 (公立) 学生数：1.0 万人 (私立) 学生数：6.1 万人	大学院 博士課程	学生数：7.4 万人 (国立) 学生数：5.2 万人 (公立) 学生数：0.4 万人 (私立) 学生数：1.8 万人
奨学金	(独) 日本学生支援機構奨学金 (平成 20 実績) 貸与総数：7.3 万人 / 貸与総額：773 億円 (43.8%) ①無利子 5.0 万人 / 523 億円、 1 人当たり月額 8.8 万円 (30.2%) ②有利子 2.3 万人 / 250 億円、 1 人当たり月額 9.2 万円 (13.6%) 業績優秀者返還免除 (平成 20 実績) ③修士：0.8 万人 / 109 億円 1 人当たり 137 万円		(独) 日本学生支援機構奨学金 (平成 20 実績) 貸与総数：1.4 万人 / 貸与総額：197 億円 (27.5%) ①無利子 1.3 万人 / 182 億円、 1 人当たり月額 12.2 万円 (25.1%) ②有利子 0.1 万人 / 15 億円、 1 人当たり月額 10.5 万円 (2.3%) 業績優秀者返還免除 (平成 20 実績) ③博士：0.2 万人 / 43 億円 1 人当たり 268 万円	
給与型	④ティーチング・アシスタント (T A) 全体数：5.8 万人 (34.9%) (平成 18 実績) ・国立大学：3.5 万人 (37.5%) ・私立大学：2.1 万人 (33.7%) 1 人当たり月額 4.3 万円		④ティーチング・アシスタント (T A) 全体数：1.6 万人 (21.6%) (平成 18 実績) ・国立大学：1.2 万人 (23.2%) ・私立大学：0.3 万人 (18.4%) 1 人当たり月額 4.3 万円 ⑤リサーチ・アシスタント (R A) 全体数：1.0 万人 (13.5%) (平成 18 実績) ・国立大学：0.8 万人 (16.1%) ・私立大学：0.2 万人 (8.5%) 1 人当たり月額：5 万円未満 52.8%、 15 万円以上 20.3%	⑥フェローシップ (日本学術振興会特別研究員事業 (D C)) 対象人数 0.5 万人 (6.2%) / 110 億円 (平成 21 予定額) 1 人当たり月額：20 万円
授業料減免等	授業料減免 ⑦国立大学 1.8 万人 / 61 億円 1 人当たり月額 (平成 20 実績) ・全額：4.5 万円 ・半額：2.2 万円 (19.4%) ⑧私立大学 0.07 万人 / 2 億円 1 人当たり月額 2.4 万円 * 延べ人数 (平成 20 学校基本調査より推計) (1%)		授業料減免 ⑦国立大学 1.6 万人 / 57 億円 1 人当たり月額 (平成 20 実績) ・全額：4.5 万円 ・半額：2.2 万円 (30.9%) ⑧私立大学 0.02 万人 / 0.6 億円 1 人当たり月額 2.4 万円 * 延べ人数 (平成 20 学校基本調査より推計) (1%)	

(参考) 民間団体等 (公益法人・学校等) 奨学金 (平成 19 年奨学事業に関する実態調査)
⑨大学院 1.6 万人 / 68 億円 1 人当たり月額 3.5 万円 (貸与：15.3% 給付：84.7%)

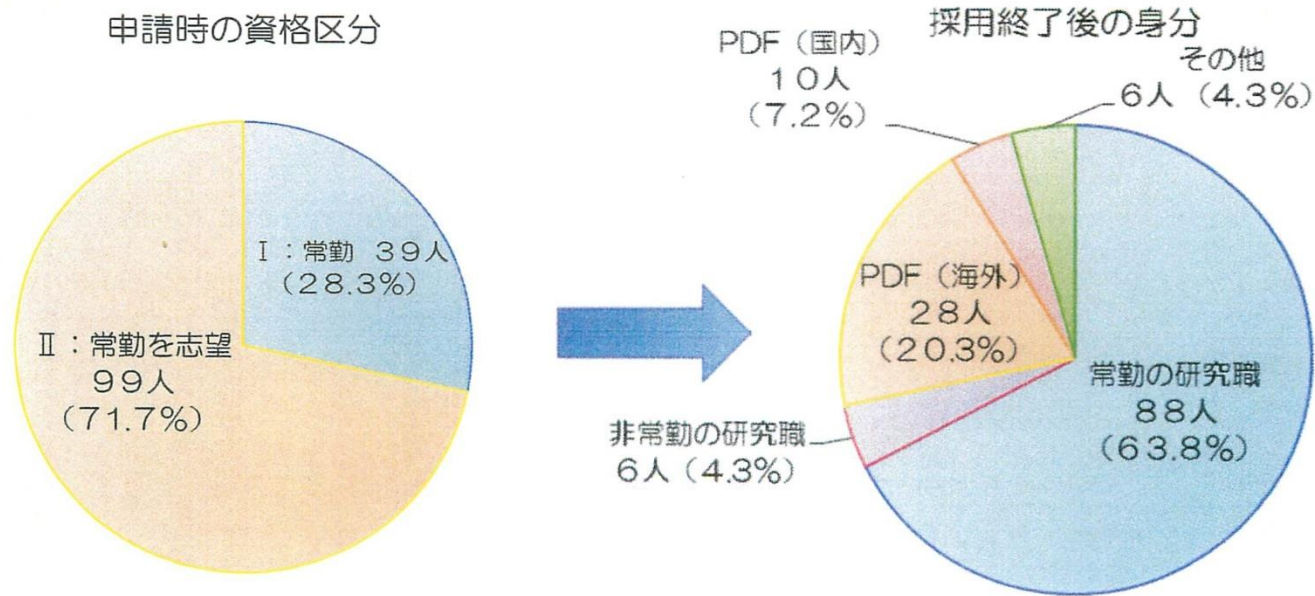
Fig.1-08 大学院生に対する経済的支援一覧

出典：文部科学省資料より

Employment of PD Fellow for Research abroad(1)

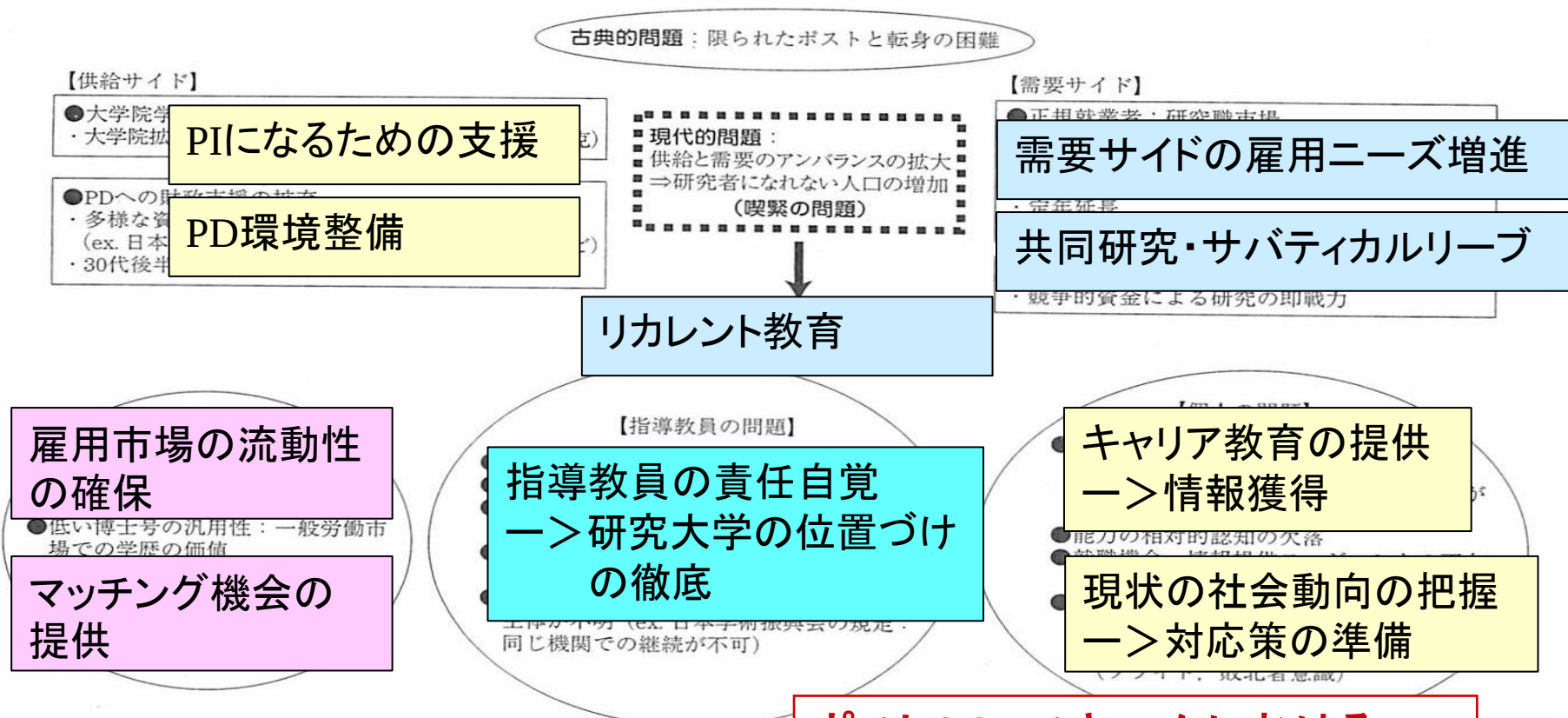
海外特別研究員の就職状況調査結果について

平成22年度採用者分（平成24年度までに終了した者）



- http://www.jsps.go.jp/j-ab/data/syusyoku/01_gaiyou_22.pdf

博士の貢献領域を拡充するための図式

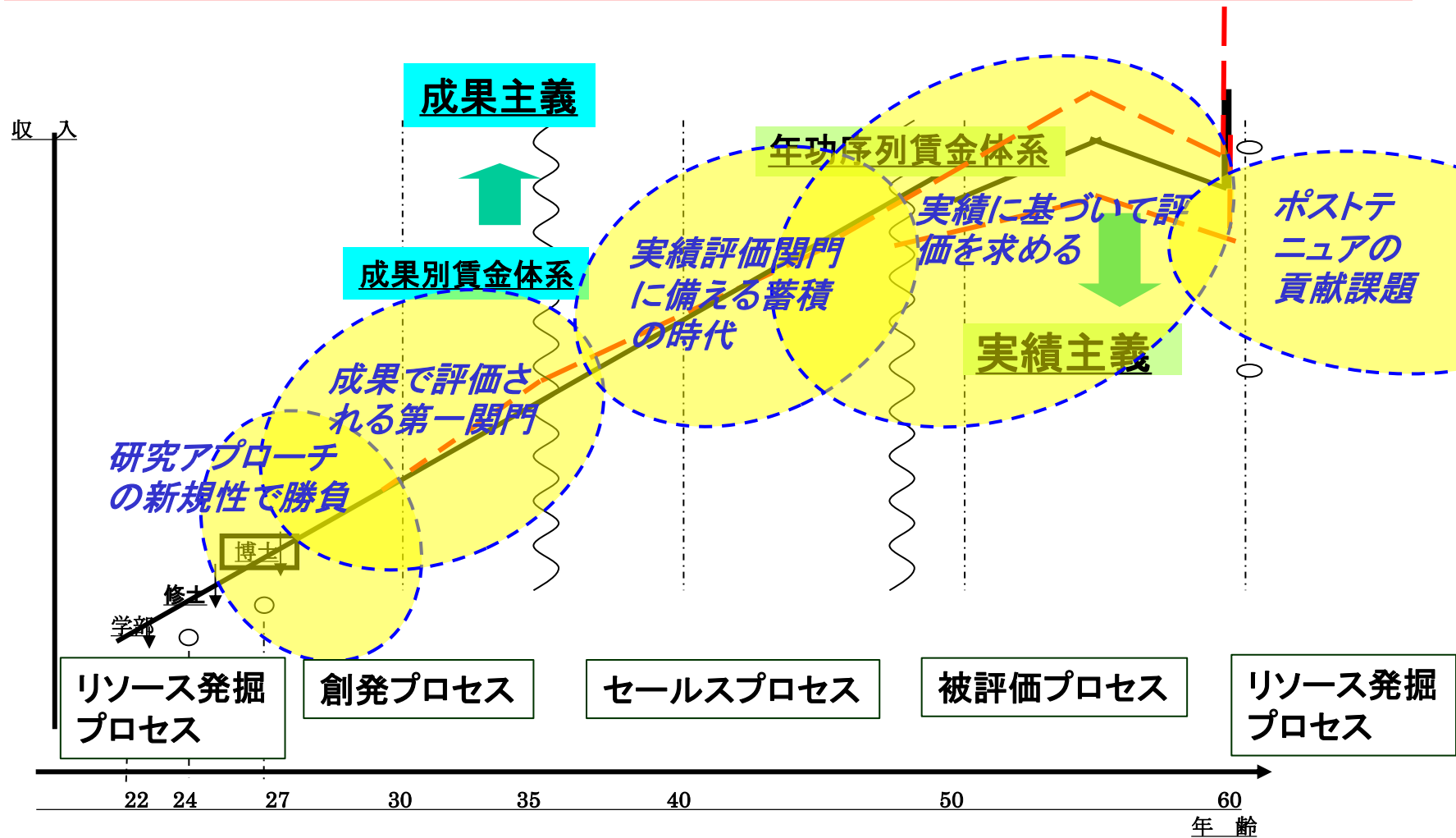


図Ⅱ-序-3 PD問題を

**ポストCOEスキームにおける
博士キャリア問題解決策の模索**

アカデミアの「継続的な自己形成」の時代

(実績に基づいて評価を求めてゆく)



(Increase
of choice)
Expansion
of the
research
community

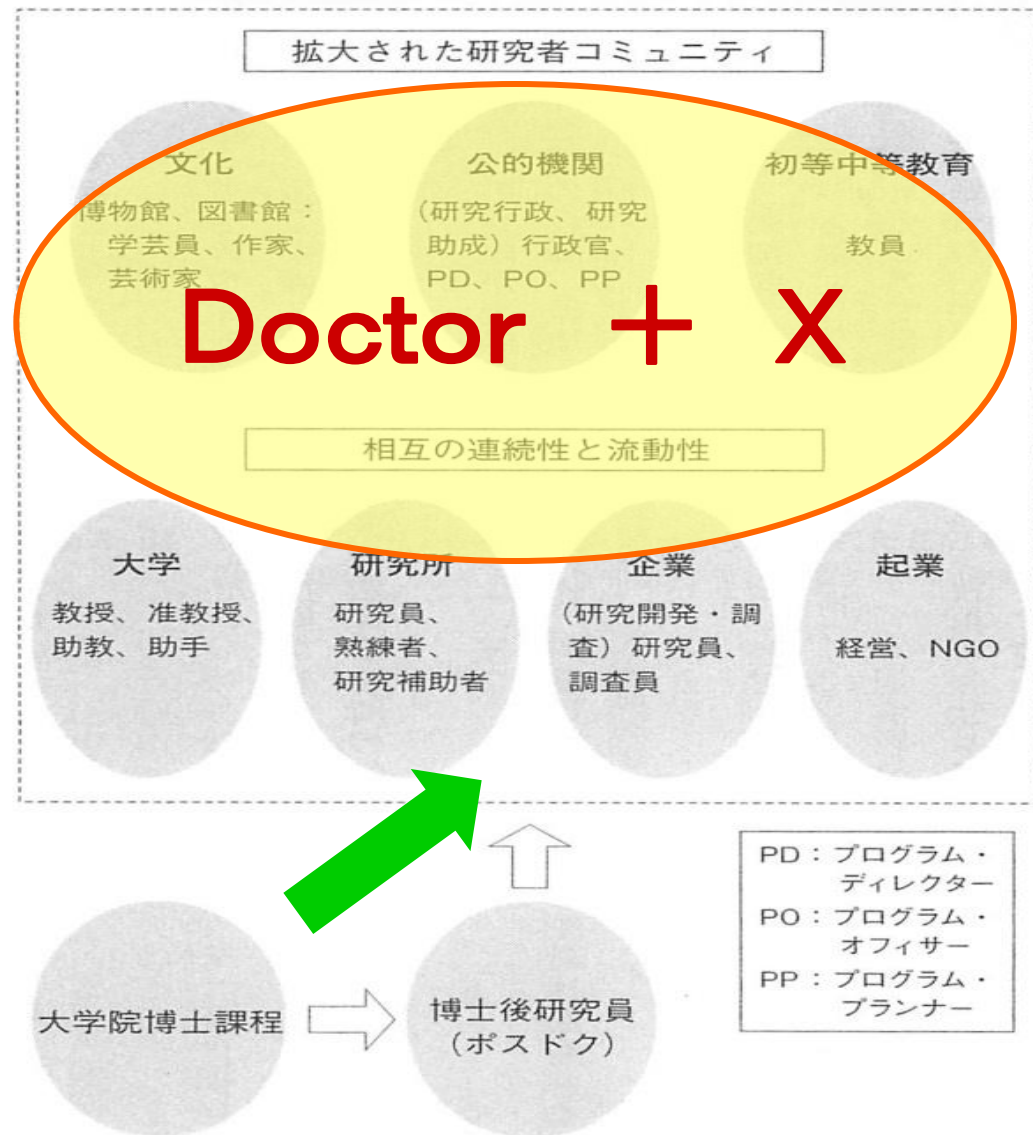
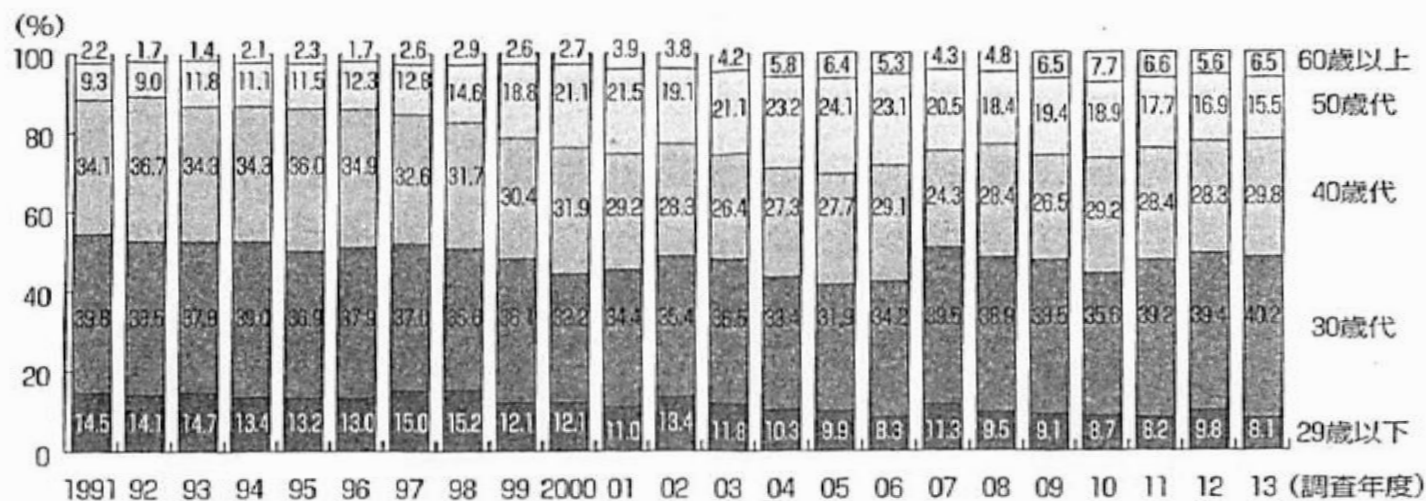


Fig.8-01 広がる研究者コミュニティ

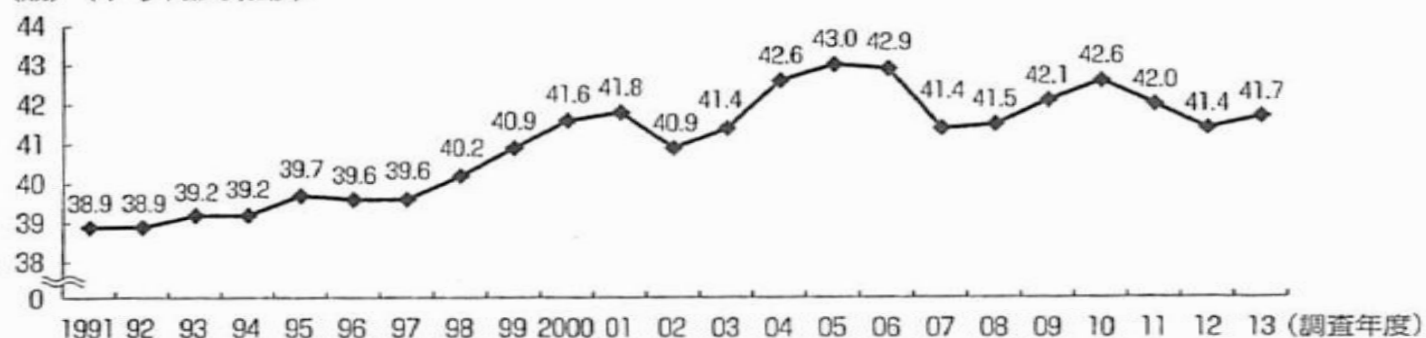
出典：吉川弘之著『研究開発戦略立案の方法論』より

(参考) 日本におけるアントレプレナー開業時年齢

● 図表 2 - 7 ● 開業時年齢の推移



(歳) (平均年齢の推移)



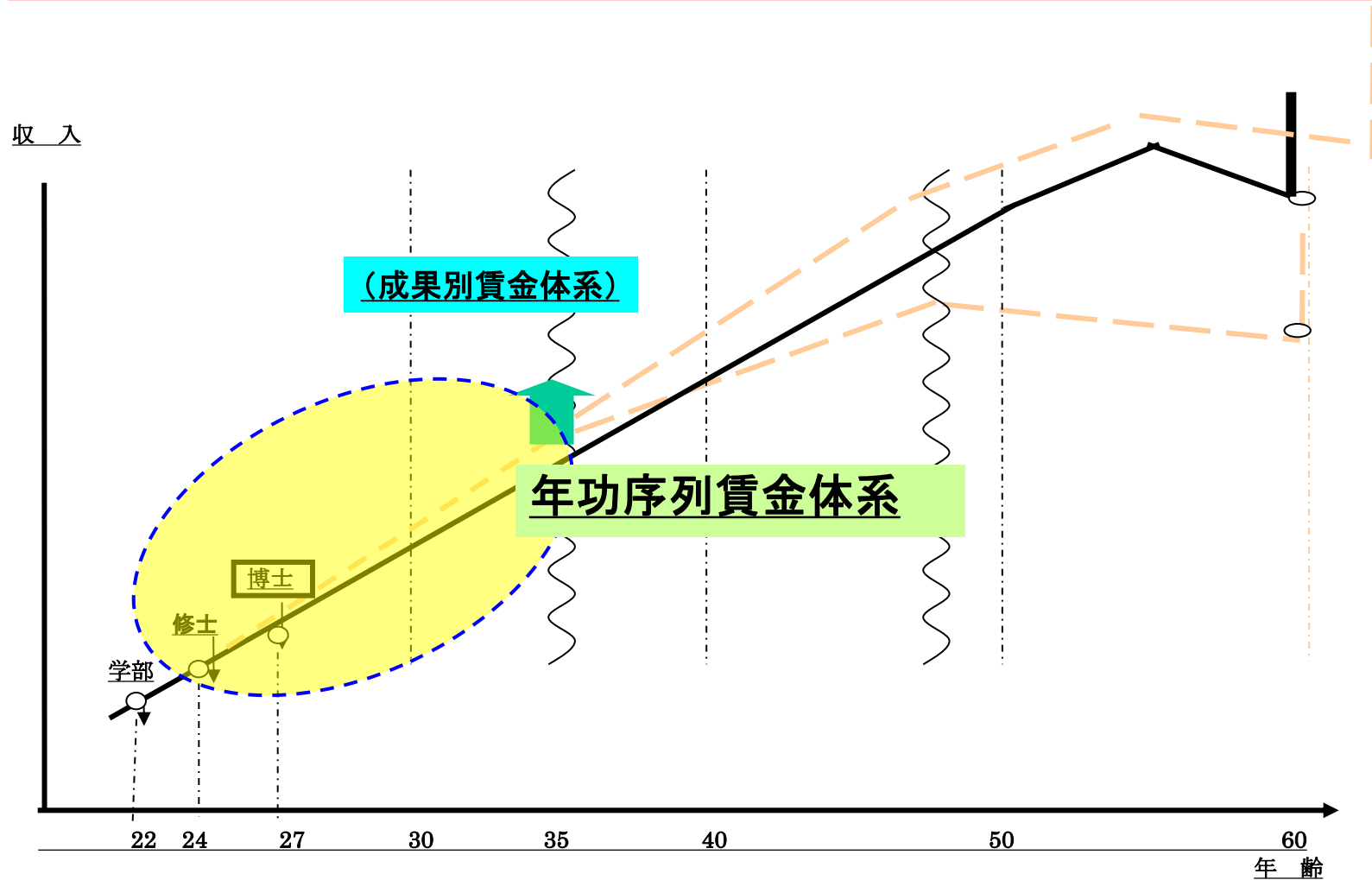
出所：日本政策金融公庫総合研究所 (2013) p.2

第7回講義の内容

- 0. 復習：就活関連情報の要約と補足
 - 1. アカデミアのキャリア形成
 - 2. 企業技術者・研究者のキャリア形成
 - 3. おまけ；「アメリカの大学・ニッポンの大学」論考
 - 4. 楽しい人生のためのキャリアデザイン

年功序列⇒（成果主義＋）実績主義

（成果主義への変化途上の対応：研究アプローチの新規性で勝負＝リソース発掘プロセスに依存）



リニアモデル (linear model)

Science (科学)



Exploratory Research to find out R&D topics
(探索研究/基礎研究)



Basic Research (基盤研究/基礎研究)



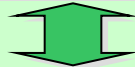
Applied Research (応用研究)



Production (開発)

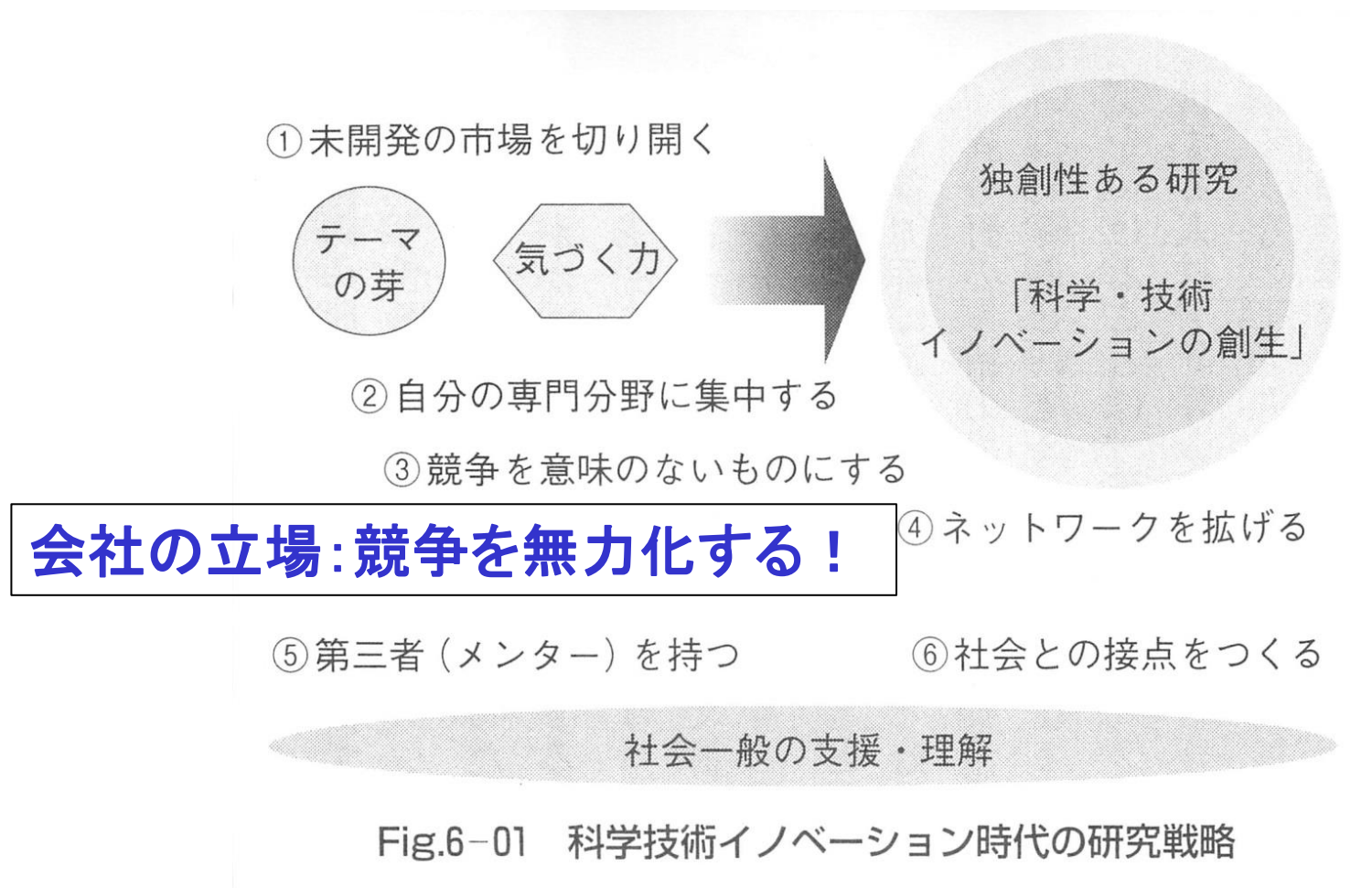


New Products (生産・販売)



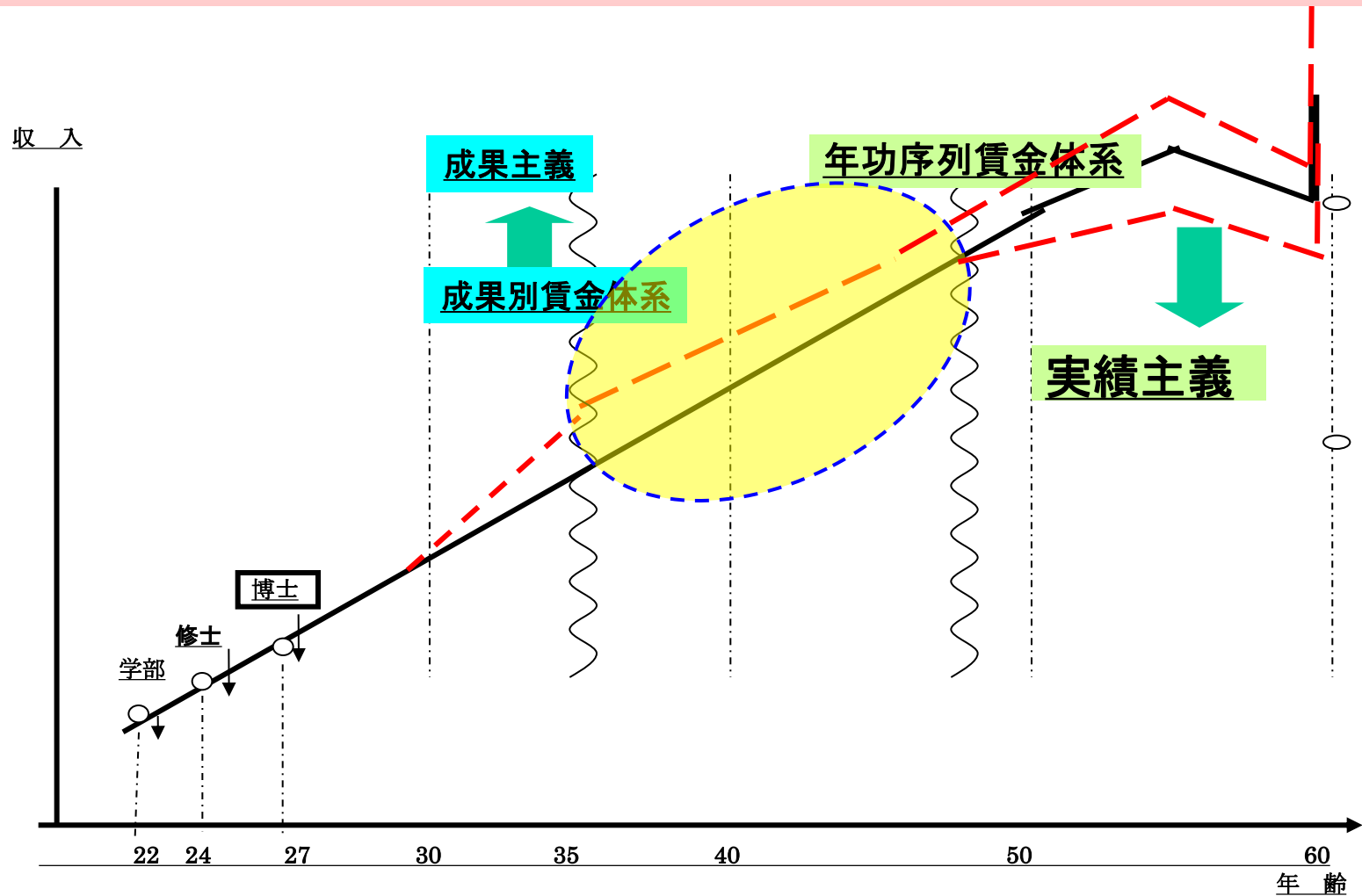
Society

Research strategy to Survive

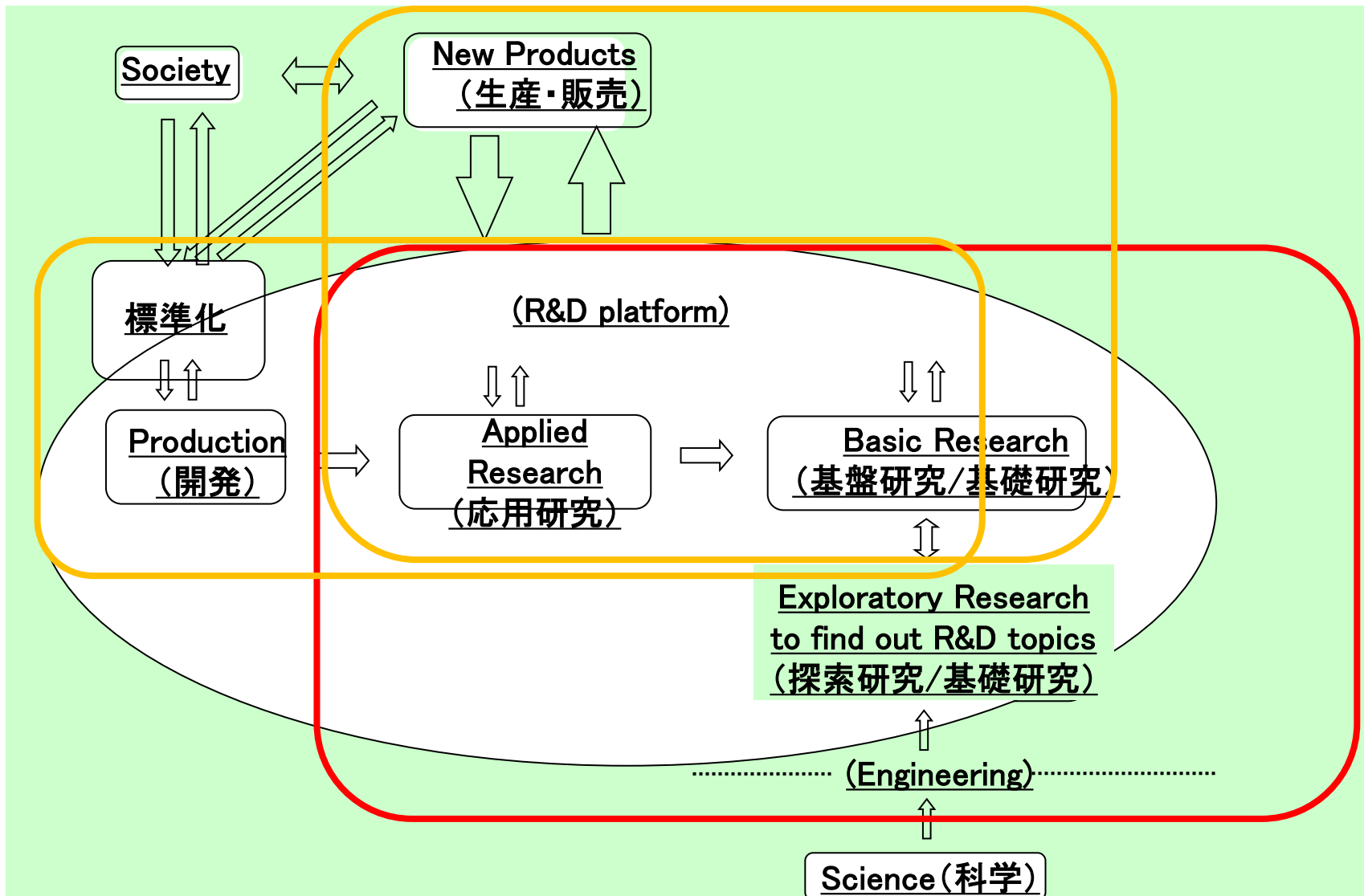


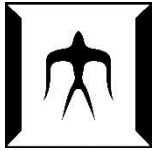
年功序列⇒成果主義＋実績主義

成果を核に実績評価関門に備える蓄積の時代

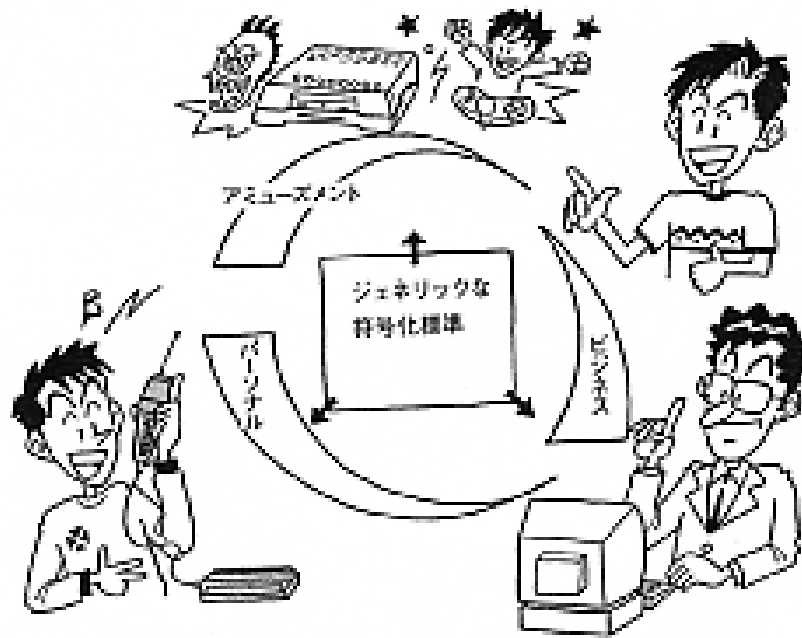


非リニアモデル(例):コンカレント(同時/共同)モデル (concurrent model)





標準化が世界を拓ける



サービスアプリケーションの形態はちがっても、映像や音声などのオブジェクト指向、共通の標準方式に統合化されることが望ましい。

符号化標準

色々な場所で、色々な端末で、その状況に合った使い方をしたい。

シームレスなサービスの実現



情報を交換しやすくするのが、**標準化**の一つの役割。

新宿・昼休みのレストラン

CCITT 1984 ~ 88

H.261 CODEC標準化

- 動き補償予測に組み合わせるべきは、DCTかVQか？

- その時点で得られる両所、実装上の難度、将来の改善余地、知財

- 1986年、キンに書か「知財へ

「欧州が決め、

日本が作り、

米国が使う」

てんぷらリードキュメント

日米欧が均等に各々6割の満足と4割の不満を感じるアプローチ。 → DCTとのハイブリッド

- 当時の合意形成の価値観と、昨今の合意に至るプロセスとの間には乖離が大きい？

知財権確保のための標準化選択

- 「均等な満足」が得られた標準化作業の意味と、時代状況の再考。

特許は約束手形か？

【特許】

国内特許:54件

実用新案:1件

外国特許:39件

アカデミアのための補足:

特許は発明だけでなく発見も対象に含む
(のか?) 合衆国法典第35編第101条

科学の発見は社会的共同作業の産物であり、コミュニティに属する。

⇒ 知的活動の成果は私有財産権である。

【特許・知財担当部長の体験的感想】

クロスライセンスを含むビジネスアライアンスの道具

紛争防止のための防御

⇒ パテントプールとノーブルオブリゲート

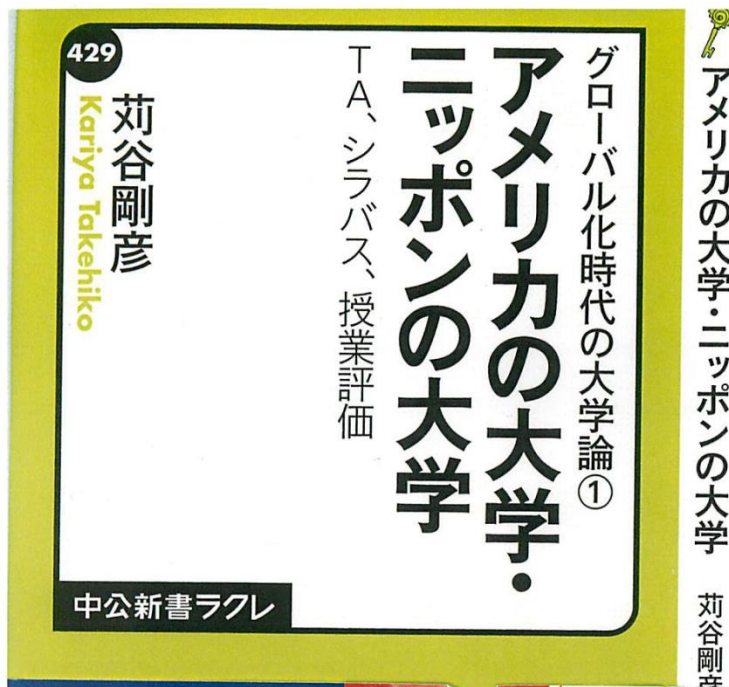
トヨタ、燃料電池車特許を競合他社に開放

2015年01月06日 17時18分

第7回講義の内容

- 0. 復習：就活関連情報の要約と補足
 - 1. アカデミアのキャリア形成
 - 2. 企業技術者・研究者のキャリア形成
 - 3. おまけ；「アメリカの大学・ニッポンの大学」論考
 - 4. 楽しい人生のためのキャリアデザイン

Reference 6; When knowing an enemy and knowing oneself, one hundred games aren't dangerous.



アメリカの大学・ニッポンの大学
荻谷剛彦



ISBN978-4-12-150429-6

C1237 ¥840E

定価 本体840円+税

Chuko Shinsho
LaClef

グローバル化時代の大学論①
アメリカの大学・ニッポンの大学
荻谷剛彦

荻谷剛彦

Kariya Takehiko

オックスフォード大学社会科学部および現代日本研究所教授、セント・アントニーズ・カレッジ・フェロー。1955年、東京都生まれ。東京大学大学院教育学研究科修士課程修了、ノースウェスタン大学大学院博士課程修了、Ph.D. (社会学)。放送教育開発センター助教授、東京大学大学院教育学研究科教授を経て2008年から現職。著書に『大衆教育社会のゆくえ』、『教育の世紀』（サントリー学芸賞受賞）、『階層化日本と教育危機』（大佛次郎論壇奨励賞受賞）、『なぜ教育論争は不毛なのか』『教育と平等』など多数。本書と同じ『グローバル化時代の大学論』シリーズの第二弾として、『イギリスの大学・ニッポンの大学』を近日刊行予定。

840円



中公新書ラクレ
R
429

日本の教育の欠陥の多くは「改革とは他国の成功事例を真似ることだ」というわが種族固有の奇想が生み出した。荻谷先生の比較教育論は「サクセスモデル」の精査を通じて、「真似」ではなく、「創造」が急務だと教えてくれる。

推薦のことは 内田樹

●中公新書 メールマガジンのご案内

中公新書とラクレの最新情報を毎月お届けします。パソコンから、また i-mode、EZweb、Yahoo! ケータイを通して、携帯電話でも受信可能です。登録は下記アドレスから。

<http://www.chuko.co.jp/mailmagazine.html>

●ツイッターアカカント @chuko_laclef

●フェイスブック

www.facebook.com/chuko.shinsho.laclef

「アメリカの大学・ニッポンの大学」(1)

荻谷剛彦

- 東大修士→ノースウェスタン大博士→放送教育開発センター助教授→東大教授→オックスフォード大教授。教育社会学者。日米英のファカリティの経験から来る大学論は貴重。
- この本自体は20年前の米国大学の状況解説。(日米間のタイムディレイを考えると、今でも有用かも。)改革、改革と言われ続けながら、何が変わり何が変わらなかったのかを見通す視点が得られるかも。
- TA, シラバス、サマースクール、授業評価等の実践がアメリカでどのように行われているのか、それを包み込むより大きなコンテクストとどのように関連しているのか。
- ティーチング・アシスタント制度に見る日米大学比較考
学習の方法が要素に分解可能 (リーディングアサインメント、討論、レポート)⇒TAは定型的な学ぶための基本的スキルの教育を担う

共通部分と差異部分を理解したうえで受容

□ IS

□ 博士候補者

□ 理工学分野

□ 博士のキャリア・デザイン問題

□ グローバルなトラック内競争

□ IS NOT

□ 米、日、英の大学ファカルティスタッフ

□ 教育学

□ アメリカの大学制度確立の時代背景

□ グローバルな大学間競争

「アメリカの大学・ニッポンの大学」(2)

荻谷剛彦

- TAの起源

“Publish or perish” と “Up or out” の葛藤の産物。
研究重視の中で教育の価値を高めていこうとする補正が図られた。

- シラバスの意味

大学全体のアクレディテーション(基準認定)と学生による授業評価
＝教育サービスにおける商品の詳細な「カタログ」

日本の大学; 週1コマを基本に学生が十数種類の授業を履修する構造

- 入学までに学生たちが身に着ける学力のレベルは(1990年代初頭の時点) 平均的に見れば日本の方が高く、大学ごとに見た学力の散らばりも日本の方が小さかった。
- 今までは、日本の大学は「受験学力」をいかにして大学教育に変換してゆくのが問題であった。今後、日本の大学の学力問題が直面する様相が様変わりしようとしている。

「アメリカの大学・ニッポンの大学」(3)

荻谷剛彦

- 大学改革の方向は、アメリカ・モデルからの脱却を図りつつ、(ex.一般教育の見直し)ミクロなレベルではアメリカの教育実践モデルを導入。ちぐはぐさが目立つ。
- サクセスモデルの精査を通じて、「真似」ではなくて「創造」してゆくことが急務。
- 学習軽量化の風潮
消費者としての学生の教育サービス提供を求める声。
学習への要求度の低い授業や成績評価の甘い授業が好意的な授業評価を受ける。就職に有利になる学歴、卒業資格を求める(Credentialism)。
- 取り敢えず大学に進学してその後の進路を考えるという意味での進路選択の「クーリングアウト」が日本の大学で今後繰り返り広げられて行く懸念。学校から職業へのトランジッション研究の第一人者。

大学法人化と高等教育論

高等教育の エリート → マス → ユニバーズ化 → 2018年問題

・アカデミックトラックの可能性

表2 99校の国立大学

- 1) 基幹・研究・重点大学 13校
(7旧帝大, 一橋・東京工業・東京医科歯科, 筑波・神戸・広島)
- 2) 地域拠点
(6旧官立)
- 3) 特殊単科大学
(8全国単科大学, 東京商)
- 4) 新構想単科大学
(12医科)

国立大学を3分類 首相が改革具体化指示

26年4月15日 19時22分

<http://www3.nhk.or.jp/news/html/20150415/k10010049641000.html>

教育格差について

意見1: 結果の平等

意見2: 機会の平等 (結果の不平等は問わない)

教育は「私財的」なのか「公共財」なのか

「公共財」→ 学費負担軽く

「私財的」→ 受益者が多く払う = 学費を高く

(奨学金で機会の平等を確保: 米国)

・就職実績・

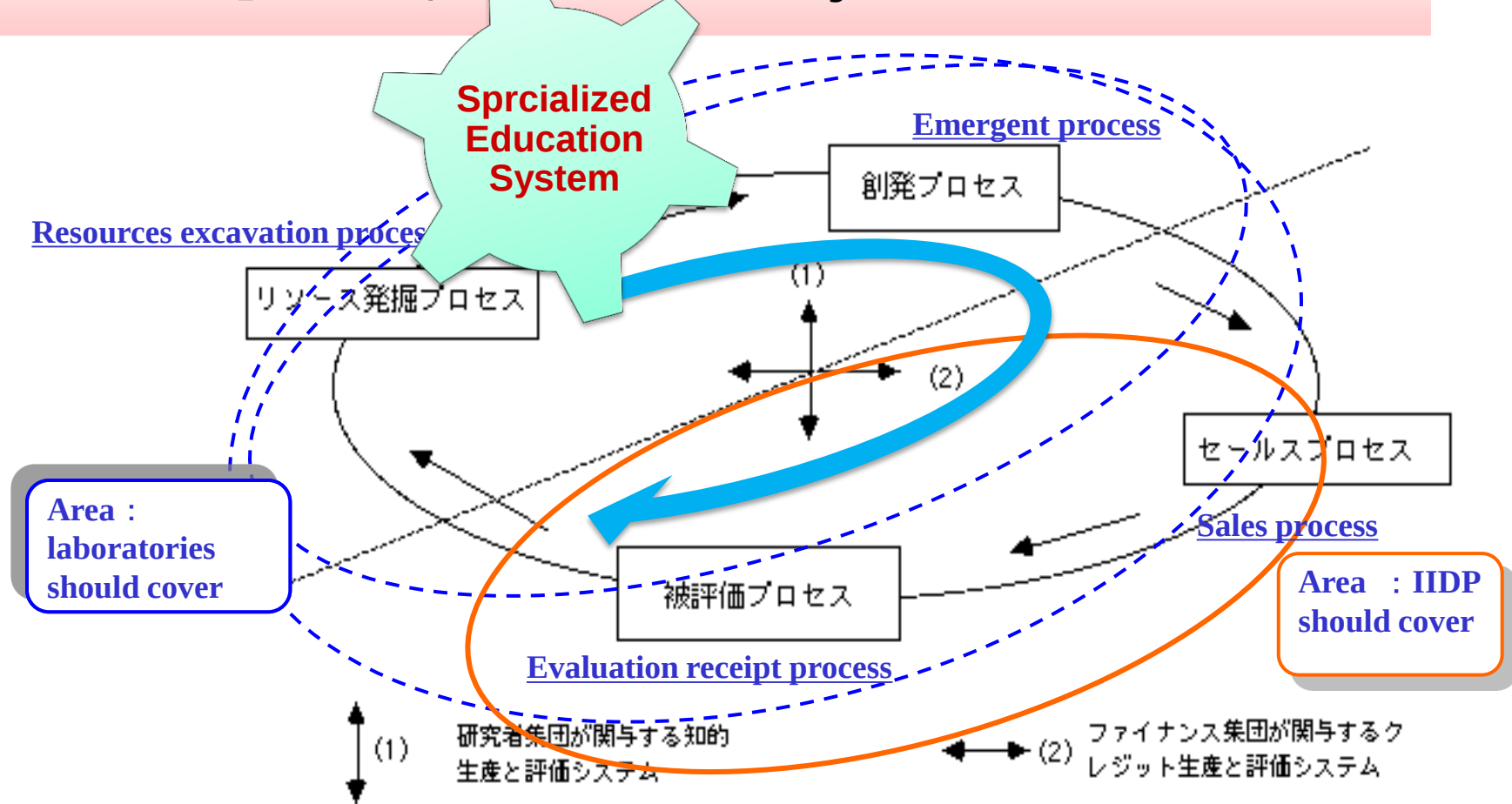
(今後、修士や博士課程で企業において研究開発業務に携わる
ポジションに就く可能性が減少してゆく分、逆に言えば……。)

最近では、「大学」と「専門学校」
と言う(経営サイドの)発言もある。

第7回講義の内容

- 0. 復習：就活関連情報の要約と補足
 - 1. アカデミアのキャリア形成
 - 2. 企業技術者・研究者のキャリア形成
 - 3. おまけ；「アメリカの大学・ニッポンの大学」論考
 - 4. 楽しい人生のためのキャリアデザイン

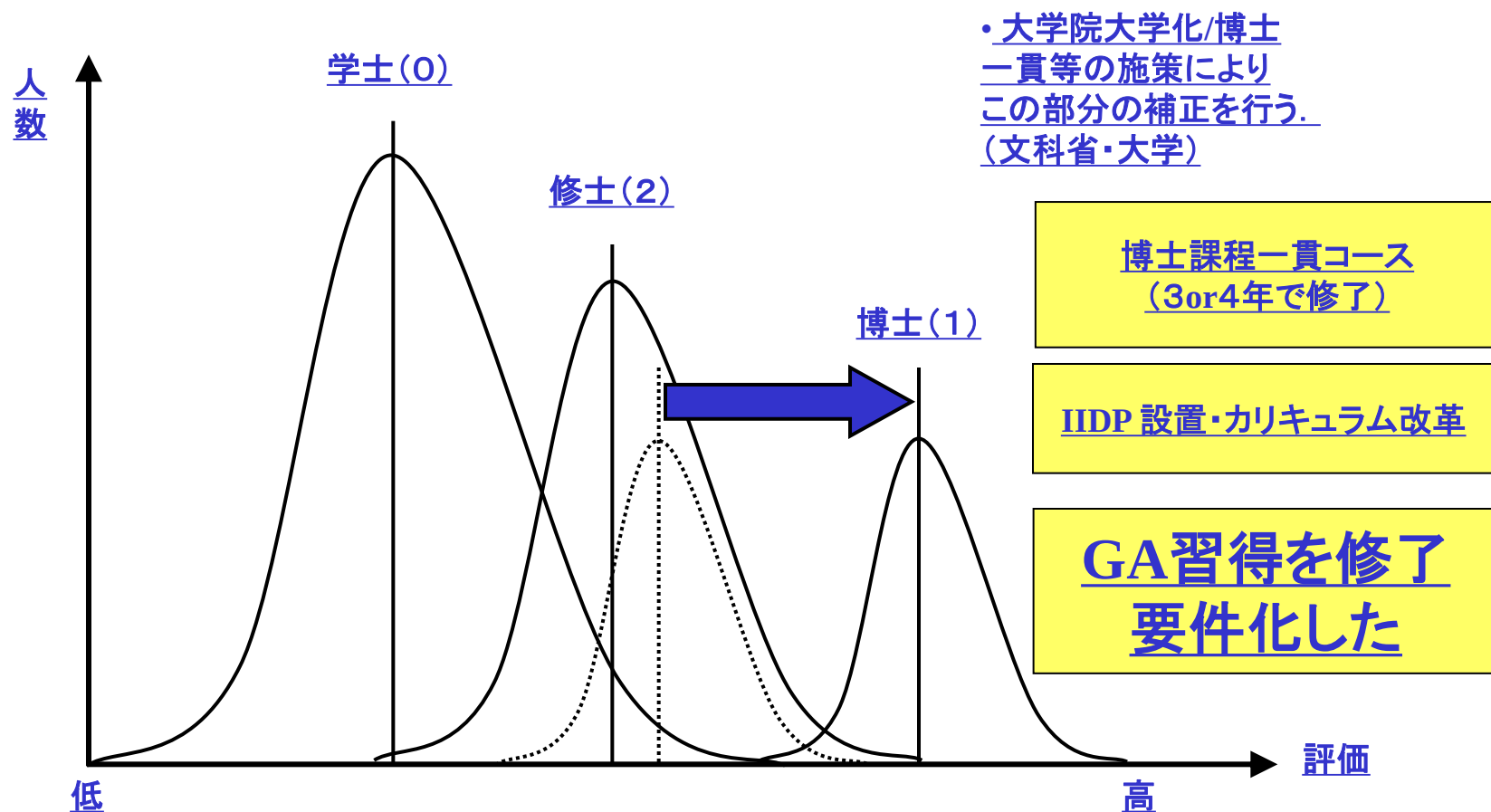
Concept to say “Credit Cycle”



研究開発者のクレジット サイクル モデル

- 1) Smauel Coleman; “Japanese Science From the Inside”
- 2) Bruno Latour, Steve Woolgar, “Laboratory Life: The Construction of Scientific Facts”
- 3) この図の出展は不明

博士卒の評価：認知度の乖離（現状そして将来）



Required Graduate Attributes for Students in the Academic Leader Program

A0D: Able to define a clear career plan in **academia** and work independently to obtain the skills necessary to accomplish that plan

A1D: Able to lead development of new academic and research fields by ascertaining the nature of phenomena and gaining an intimate understanding of learning

A2D: Able to understand the position of academics in society and effectively convey academic progress to the members of society as stakeholders

A3D: Able to nurture junior students, who will be responsible for developing new academic and research fields in the future, by imparting interest in academia

Required Graduate Attributes for Students in the Productive Leader Program

P0D: Able to define a clear career plan in **industry** and work independently to obtain the skills necessary to accomplish that plan

A2D: Able to understand the position of academics in society and effectively convey academic progress to the members of society as stakeholders

P2D: Able to create new value for society by leading teams with diversified expertise and merits

P3D: Able to nurture junior students through projects to become the future developers of new academic and research fields

学術講義としての「博士キャリアデザイン」

- 「博士キャリアデザイン」の講義はどのようにして成立できるのか？

学問的叡智獲得への期待

5年～30年

リテラシーへの期待

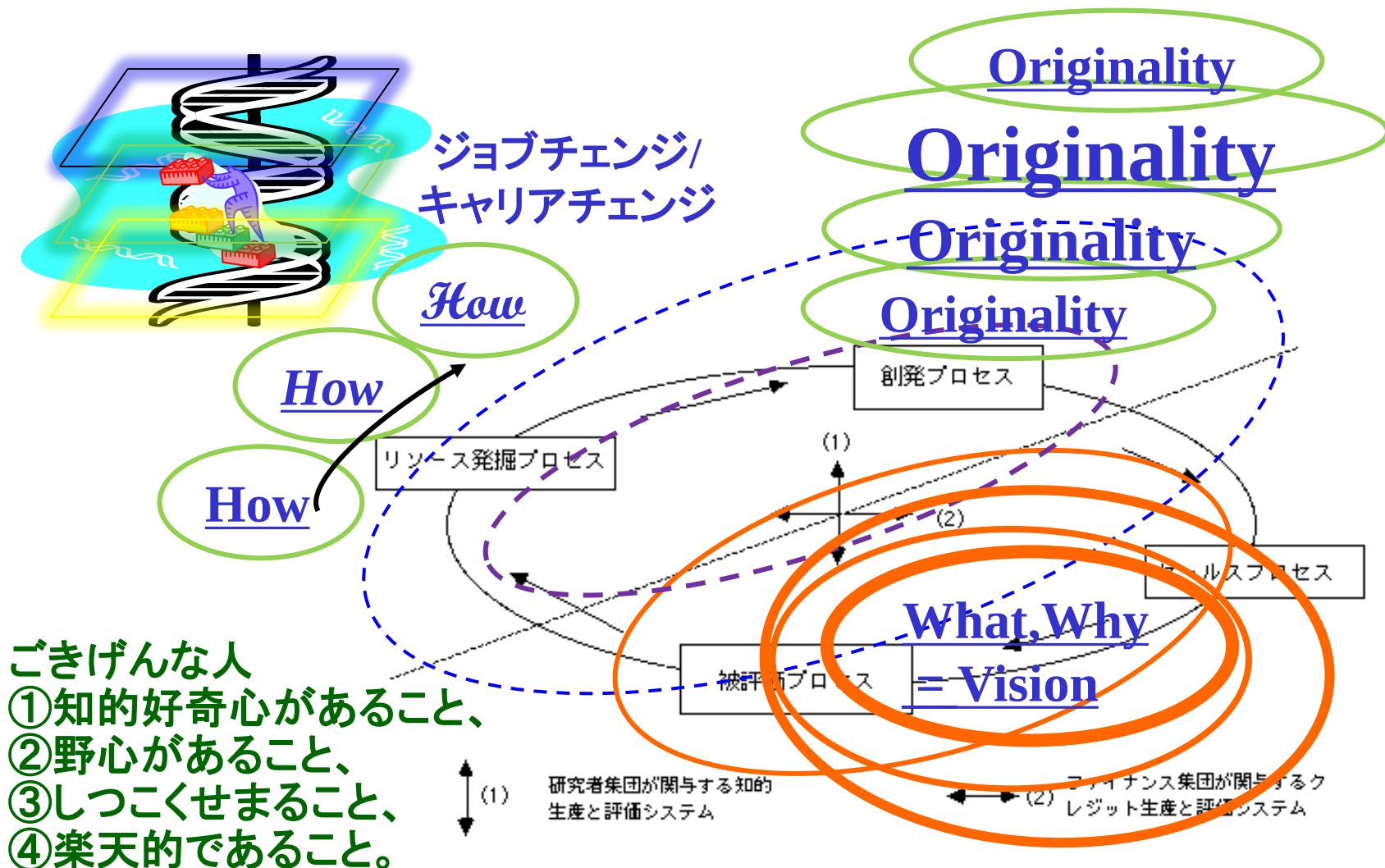
3ヶ月～11年

ノウハウの習得

1日～3ヶ月

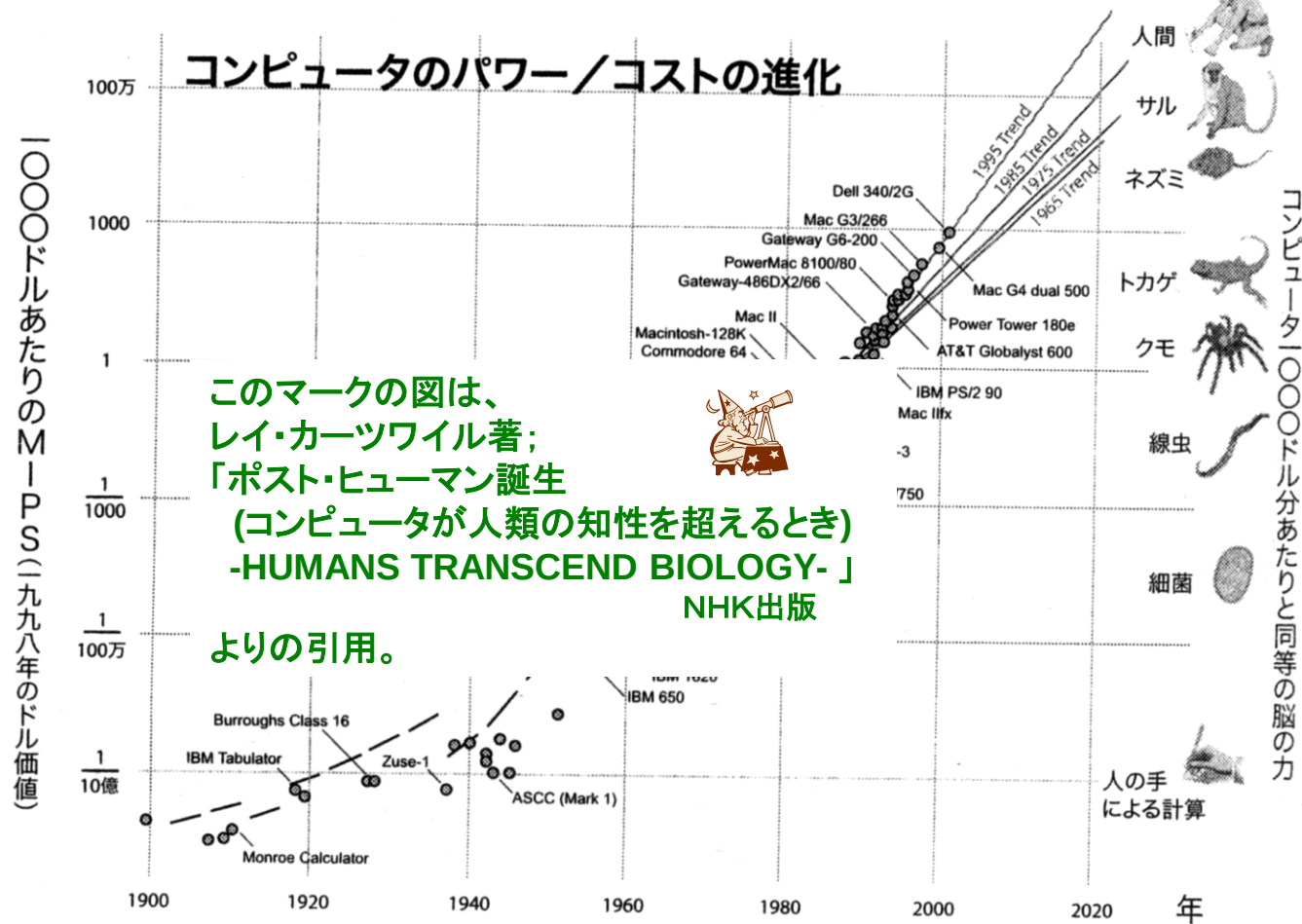
「3個の視点」を意識したカルチュラル
スタディーズ的アプローチ

Credit cycles for Scientists and Engineers



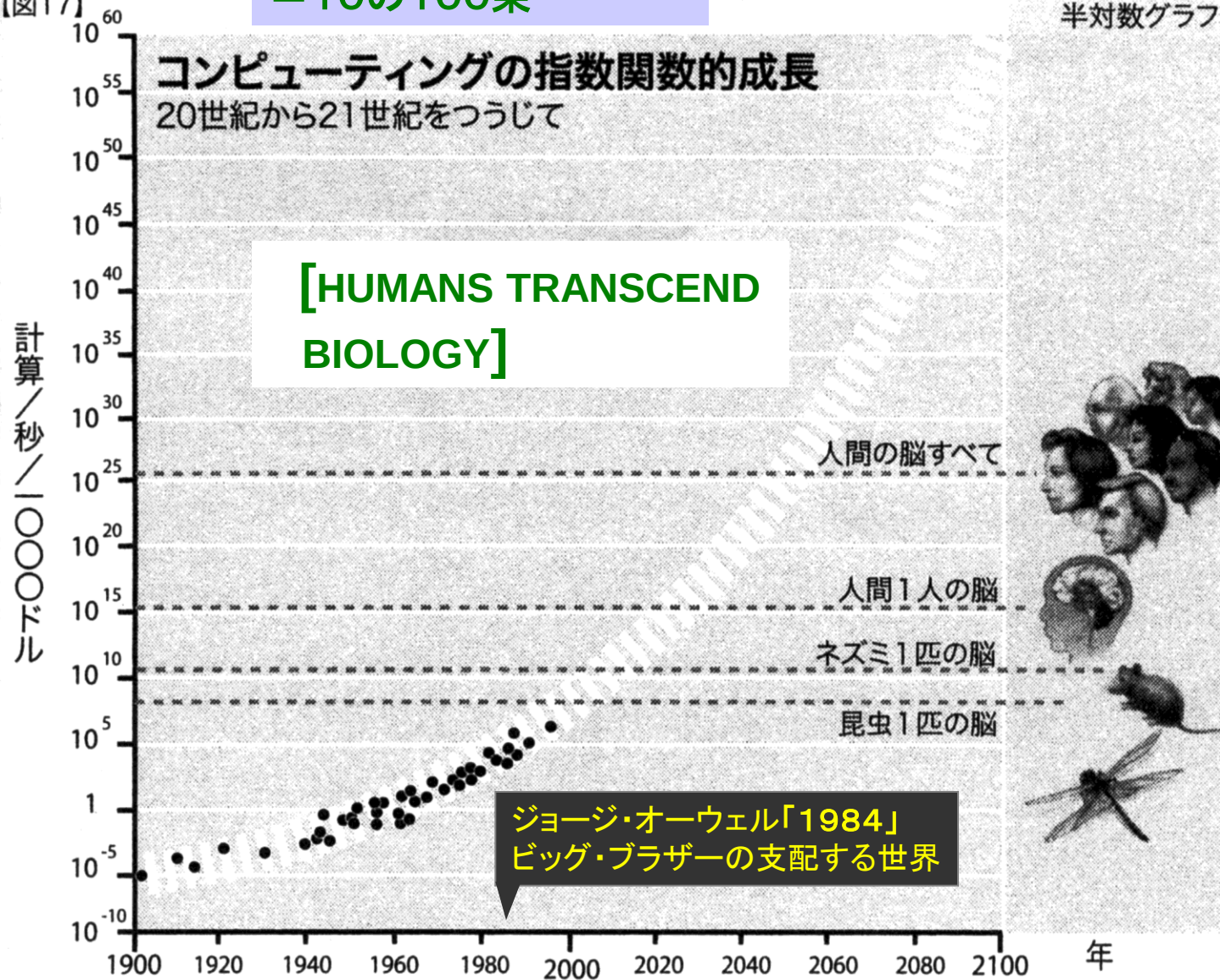
1,000ドルで人間の脳と同等以上の計算力

【図16】



ちなみに、1 **グー** **ゴル**
= 10の100乗

【図17】



遺伝というその生物の枷が
取り払われる？
生物の限界を超える？

機械は人類の後継者？：「特異点」論者

- 知識を極端に早く共有できる。（インターネットにもアクセス

一つの思考実験の例で問いかけてみる。

- 機械の知能が自身の設計を改善するサイクルは、どんどん早くなる。



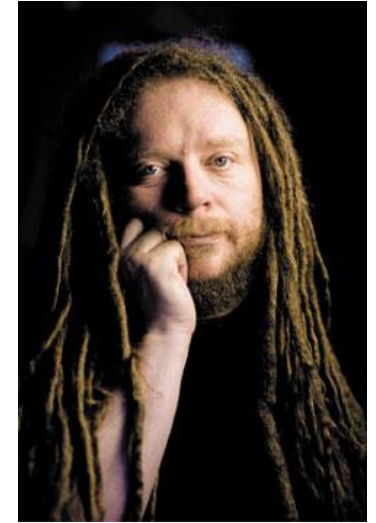
ナノボットとは分子レベルで設計された大きさがミクロン単位のロボットで、「呼吸細胞（人工の赤血球）」などがある。

- ナノボットは生体のニューロンと相互作用して神経系の内部からヴァーチャル・リアリティを作りだし、人間の体験を大幅に広げる。



(VR創始者としての)科学者・技術者の立場: 人間はメカニズムか不可知なものか

「人間はガジェットではない IT革命の変質とヒトの尊厳に関する提言」
ジャロン・ラニアー 井口耕二 訳 ハヤカワ新書016 (2010.12.20)



- 「人間性を尊重すべき」と認めないと、人々が
(ネット上で)生み出す成果は混乱し、質が落ちてゆく.
- 科学的な考察では、別格の扱いを人に認めない
哲学的枠組み=計算主義がとても有用である.
計算主義は、エンジニアリング関係でも役に立つ.
- 人間主義と計算主義(サイバネティックス全体主義の一部に紛れないように注意)との各々に、
適切な場所と実用的な範囲と言うものがある。

=> 「感応の輪」

「感応の輪」のインフレーション

人間とは何か？ 科学とは何か？
社会との関係はどうあるべきか？
ということに関する、

正しい知識！ 正しい判断！

(GA0~GA3の中で「社会」について言及されている理由)

外的環境の理解から自己のキャリアプラン作成へ

- 「継続的なキャリア形成」時代のモチベーション
- アカデミアのキャリア形成の状況
- 企業の研究・開発者のキャリア形成の状況
- 7回の講義と2回の演習課題提出を通じての総合理解
 - => (自分の中での)アクションプラン作成
 - => ALP, PLPの選択
- (科学とは、研究者とは何か?)

博士キャリアデザインの総括(1)

- ルールを知らなければ、ゲームには参加できない。戦術を学ばなければ試合には勝てない。
- 世界共通のゲームに参加するには、自分に相応しい場所を求め続けねばならない。
- 「アカデミア・プロダクトの段階」毎に競争要件が異なっている。一生に一度「就活」期間があるわけではない。
- 実は企業のキャリアでも同様のことが起こる。
- キャリア形成は非連続な確率過程！！
巡航モードとシフトチェンジ時の違いを意識する。

博士キャリアデザインの総括(2)

- 自分の価値観を踏まえた、こだわらない冷静な判断力。
- 功利主義／マーケティング思考でとらえる。
- **科学者・技術者の「競争の場の価値基準」が変わりつつある。**
- 研究者も how から what, why へのパラダイムの変化を認識する必要が生じている。
- **cur·ric·u·lum vi·tae 履歴(書).**ラテン語 ‘course of life’ を整えることの重要性。
- **人間とは何か、機械とは何か、社会とは何かということに関する 正しい知識！ 正しい判断！**

第7回講義の内容

- 0. 復習：就活関連情報の要約と補足
 - 1. アカデミアのキャリア形成
 - 2. 企業技術者・研究者のキャリア形成
 - 3. おまけ；「アメリカの大学・ニッポンの大学」論考
 - 4. 楽しい人生のためのキャリアデザイン
 - ・本講義でカバーできなかったこと

「働くことの意味」

清水 正徳

- 哲学者である著者が、哲学的宗教的な見方をこえた科学的労働理論が如何に形づくられてきたかを明らかにする。
- 本書で紹介・解説される思想は、「古代ギリシャ、キリスト教、仏教、儒教、哲学、経済学、社会科学等」で、登場する人物は、「アリストテレス、トマス・アキナス、ルター、J・ロック、アダム・スミス、マックス・ヴェーバー、ヘーゲル、マルクス、ポランニー、イリイチ等」である。
- 古来、人びとは労働をただ「生活のための労苦」とだけ考えてきたわけではない。自然や超越者とのかかわりで、さまざまに意味づけて働いてきた。本書は、主要な労働観の系譜をたどり、その思想的遺産が今日にもつ意味を考える。

働くということ：フリータ問題の最大の影響

日常に「働く」という行為があると忘れてしまいがちだが、「働く」という行為は、人間の生きる力を根底から支えていると言っても過言ではない。

「仕事＝労働」がもつ、「潜在的影響力 (latent consequences)」(＝1日の時間配分、自尊心、他人を敬う気持ち、身体及び精神的活動、技術の使用、能力発揮の機会、自由裁量、他人との接触、社会的地位など)が、心を元気にし、人に生きる力を与えるのだ。

それは、「生きていていいんだよ」というメッセージでもある。

キャリアデザインの視点から見た 福祉と就業／家族と個人

- 低成長期における福祉の対応：高齢化社会に対して家庭基盤の充実、主婦役割の強化
- 1970年代；「充実・拡充」の対象としての社会保障
- 石油危機後の「整備・調整」
「社会的援助の対象としての家族」
→「社会保障抑制の支えてとしての家族」
「社会保障の担い手としての家族」
- 伝統的な家族規範の復興
vs. シャドーワークのアウトソース化（1億総活躍社会？）
家庭の主婦労働、育児、介護労働

**非正規雇用の増加
／雇用の流動化
がもたらす「影と光」**

フリーターの定義（正規と非正規の線引）

表 4-5 女性の就業形態別にみた最終学歴(2003 年度) (%)

	中学校	高校	専修 学校	短大・ 高専	大学・ 大学院	合計
全体	3.6	51.5	10.0	21.5	13.4	100.0
正社員	1.1	44.7	10.1	27.0	17.1	100.0
契約社員	6.7	40.4	14.4	19.5	19.0	100.0
出向社員	4.8	46.8	11.1	23.5	13.7	100.0
派遣労働者(常用雇用型)	2.9	44.0	10.8	25.4	16.9	100.0
派遣労働者(登録型)	1.0	33.2	11.3	30.3	24.2	100.0
臨時的雇用者	18.8	41.1	5.8	7.2	27.2	100.0
パートタイム労働者	6.3	62.7	9.3	14.5	7.3	100.0
その他	8.4	55.4	10.0	16.2	9.9	100.0

出所：労働政策研究・研修機構『雇用の多様化の変遷：1994～2003』

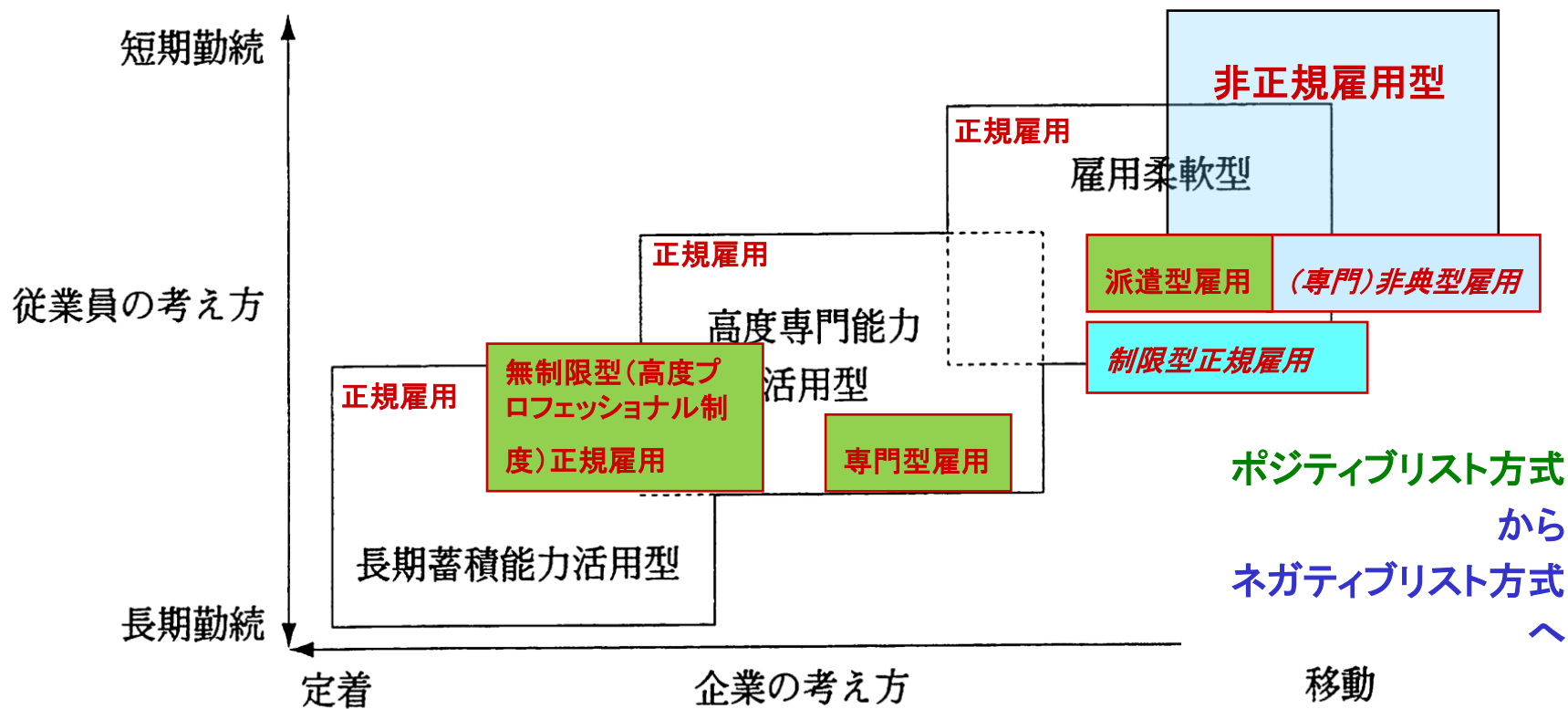
2006 年より作成

(注) 性別、就業形態、年齢に関する無回答を除外した

雇用のポートフォリオが変わりつつあるのか？

ポジティブリストからネガティブリストへのルール変更に注意！

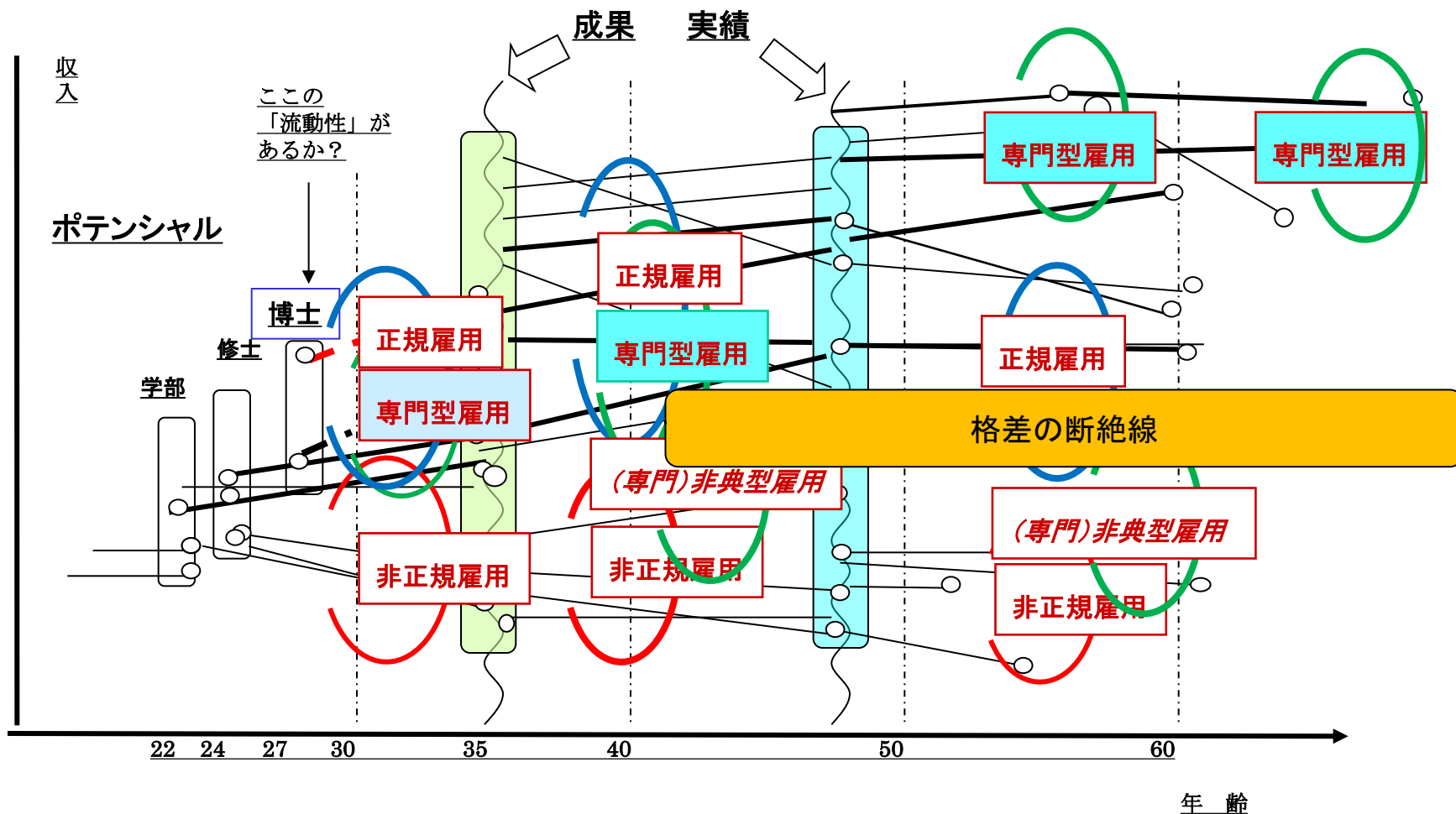
図表3-1 日経連の雇用ポートフォリオ



資料出所：日本経営者団体連盟『新時代の「日本的経営」』1995年，32頁

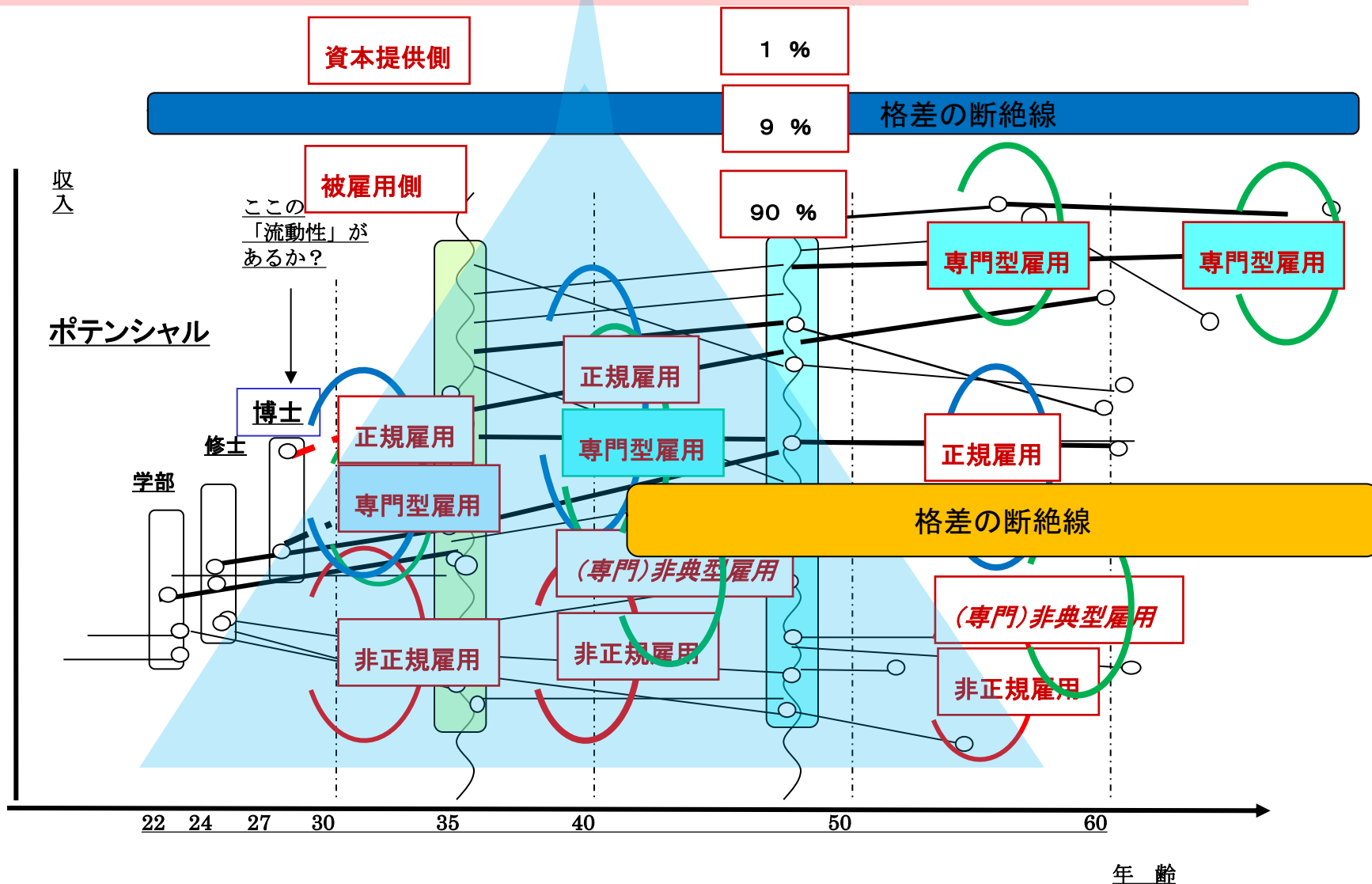
漠たる不安：格差社会到来の足音？

(成果主義＋実績主義⇒流動性不足の社会)



漠たる不安2: 格差社会のバリエーション？

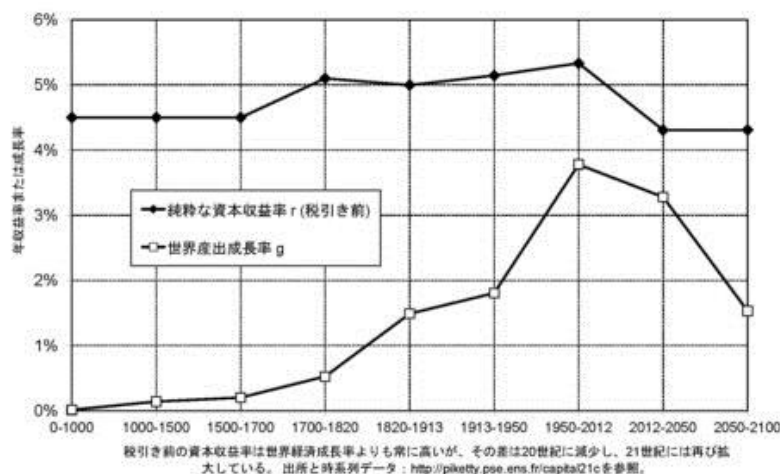
注) トマ・ピケティ「21世紀の資本」における格差社会 との違い



デジタル化による「競争価値基準」の パラダイム変化

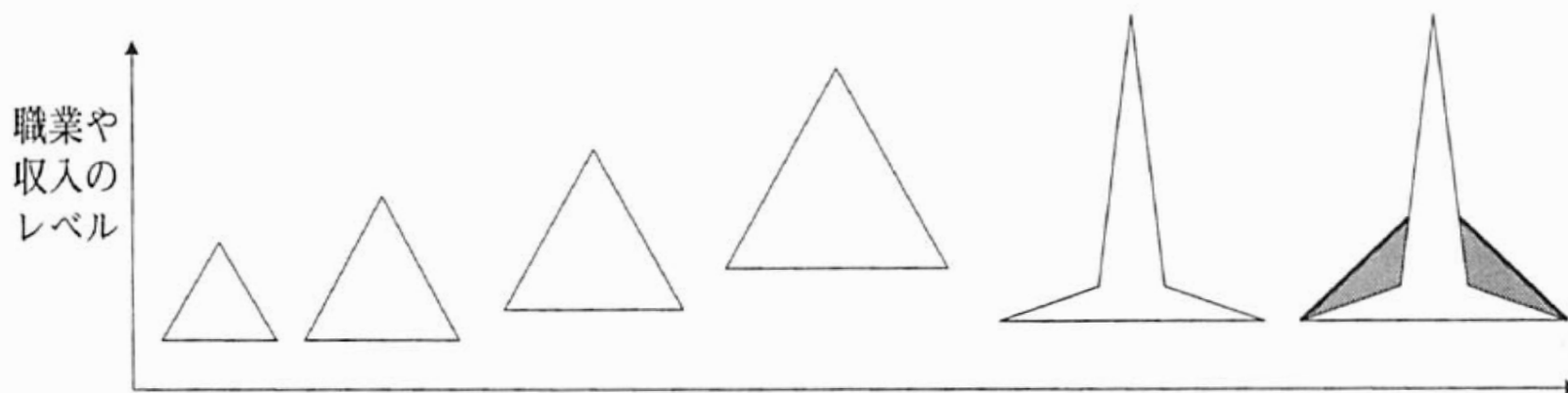
- 企業における技術開発の世界でも、デジタル化という物作りの方法論の革新により技術の裾野が広がっている。

図 10.9. 世界的な資本収益率と経済成長率の比較 古代から2100年



$r > g$
差の再拡大への対処

IIDP「リーダー」への期待： ローロード戦略からハイロード戦略への転換を主導

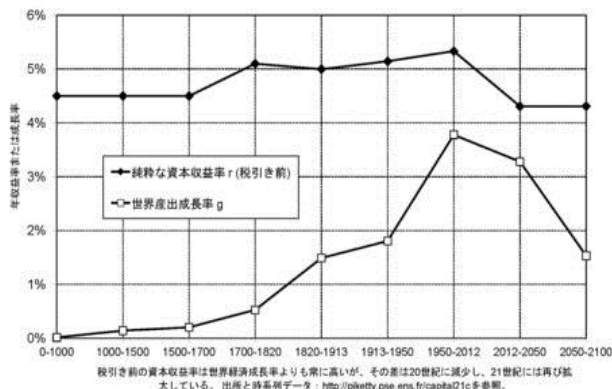


戦後福祉国家

市場化

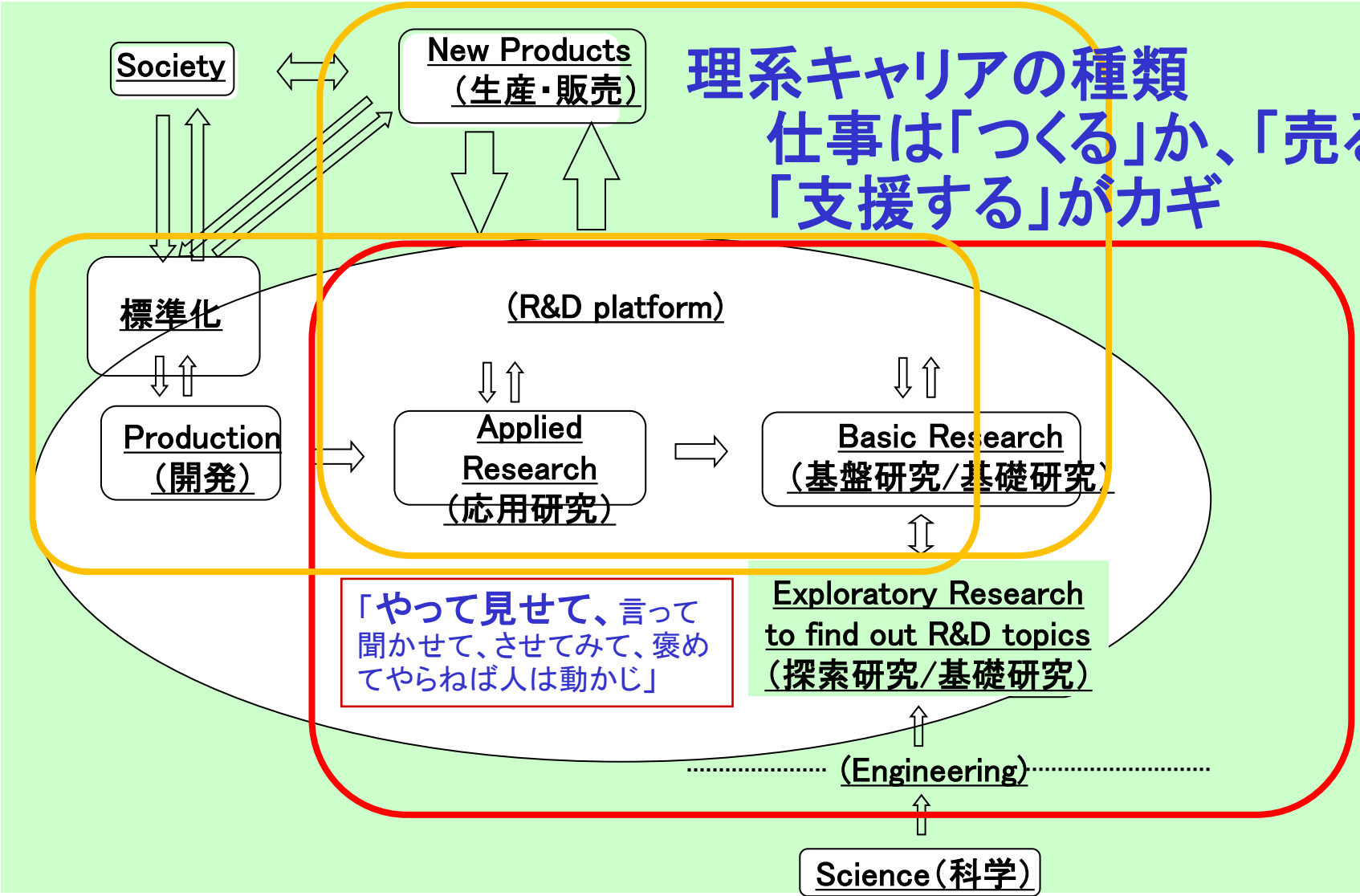
キャリアラダー戦略

図 10.9. 世界的な資本収益率と経済成長率の比較 古代から2100年

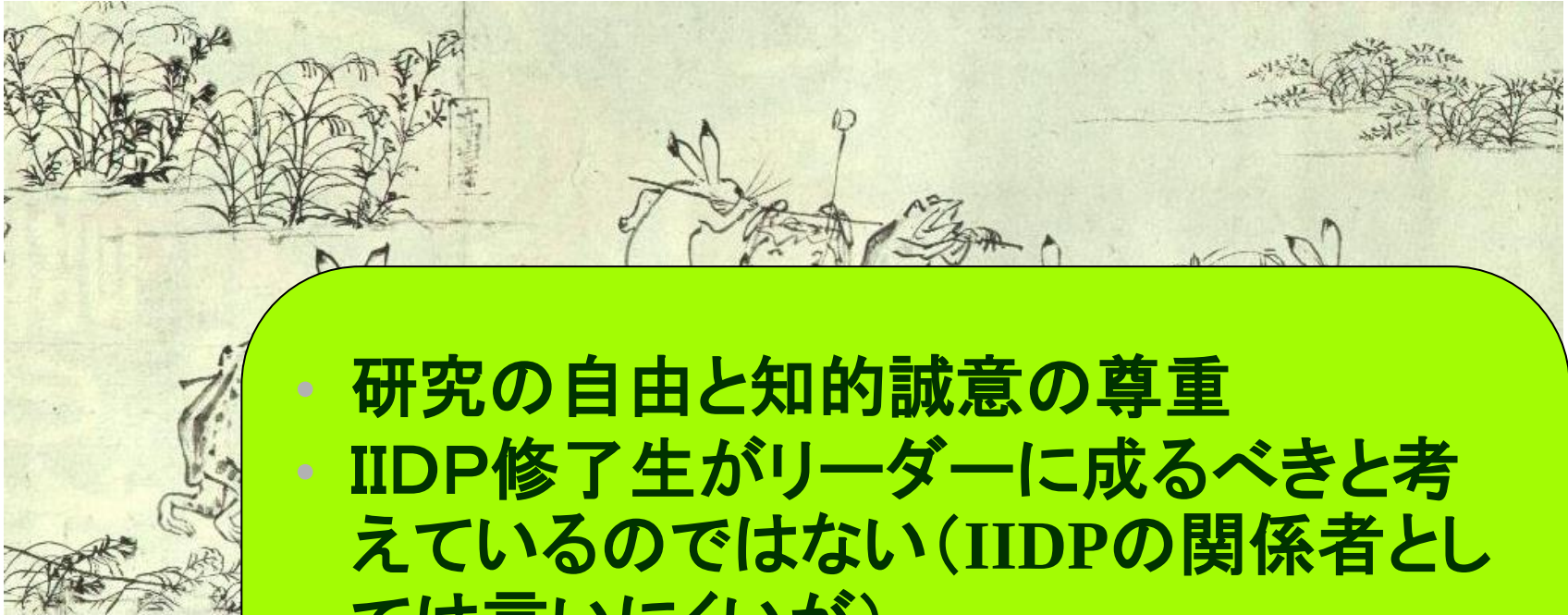


- ◆ 「ハイロード」品質改善や生産性向上によって、あるいは、受注から納品までのタイム・ラグと、製造工程-設計間のリード・タイムの両方の短縮によって競争する。
- ◆ 「ローロード」コストを基盤に競争する(より低い賃金を支払う)。テクノロジーに投資するのは、熟練労働の欠如を埋めるか、その置き換えが目的である

非リニアモデル(例):コンカレント(同時/共同)モデル (concurrent model)



Open the floor for questions



- 質問

- 研究の自由と知的誠意の尊重
- IIDP修了生がリーダーに成るべきと考えているのではない(IIDPの関係者としては言いにくいが)。
- 理性の追求と修練の過程は生涯必要であると考え続ける人がリーダーに成ってくれればと願っている(個人的意見)。

参考文献のリスト(他の「ありもの」でも良い)

- 「理系のための研究生生活ガイド(第2版)」
坪田一男、ブルーバックスB-1671、講談社、940円
- 「院生・ポスドクのための研究人生サバイバルガイド」
菊池俊郎、ブルーバックスB-1709、講談社、820円
- 「自分の小さな「鳥カゴ」から飛び立ちなさい」
河合江里子、ダイヤモンド社、1,400円
- 「理系のためのキャリアデザイン 戦略的就活術」 増沢隆太、丸善出版、2,000円
- 「検証なぜ日本の科学者は報われないのか」サミュエル・コールマン、文一総合出版、2,400円
「Japanese Science: From the Inside」 Samuel Coleman、Taylor & Francis Group
- 「アメリカの大学・ニッポンの大学」
苅谷剛彦、中公新書ラクレ429、中央公論新社、840円
- 「博士号だけでは不十分！」ピーター・j・ファイベルマン、白楊社、1,800円
「A PHD is not enough !」 Peter J. Feiberman 、Perseus Books Group
- 「芸術脳の科学 脳の可塑性と創造性のダイナミズム」
塚田 稔 ブルーバックス B-1945 920円

演習課題の提出方法

- 締切日

課題1 : 5月 11日(水)・第5回開講日

課題2 : 5月 25日(水)・第7回開講日

- 提出方法

1) 提出日23:59迄にOCWi で提出

2) 講義終了時に講義室で提出

3) 提出日23:59迄にメール添付で

hatori.y.ab@m.titech.ac.jp に提出

4) 提出日迄に「J3-29 IIDP羽鳥宛」に学内便で提出

注) 提出日を過ぎてからでも、5月31日(火)までに提出すれば配慮される可能性あり。

博士キャリアデザインⅡ 演習課題の内容

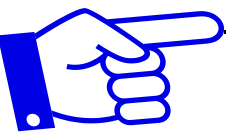
- 「参考文献(リストに挙がっている本である必要は無い。手持ちの本でOK)」を読み、その内容に基づき議論を進め、最終的に、「自身のキャリアデザイン」についてのアクションプランを纏める。
- 第1回演習課題:文章化した「自身のキャリアデザイン」の論述資料「課題図書」を(批判的吟味の精神を忘れないように)参照しつつ、自分の立場を前面に出した「自身のキャリアデザイン」を文章中心に纏める(一部図表が入っても良い)。**
 - ー>A4縦書き。(但し英語の方が都合の良い人は英語・横書きも可)。3ページ以上。

個別の知識を正しく受け取る。
- 第2回演習課題:「見える化？」した資料の作成**
役員会審議で自分の「自身のキャリアデザインをアクションプランとして承認させる」ための資料を作成する。

知識を統合して体系を理解。

 - ー>A3横1枚で作成する。

(ポスターセッション資料。エントリーシートのようなものか?)



本講義の評価方法

(Evaluation method of this lecture)

1. Evaluation 成績評価

- Attendance at lectures 講義出席
7回

 63%
- Submission of homework 課題提出
2回

 37%

による。

2. 試験による評価は行わない

(Will not be evaluated by the test.)

本講義(博士キャリアデザインⅡ)全体の流れ

●第1回:4月6日

- ・総論。本講義の流れと評価方法。課題(参考)図書の紹介と演習課題の説明。

●第2回:4月13日

- ・キャリアの「継続的な自己形成」の時代。「自分の小さな「鳥かご」から飛び出さない」

●第3回:4月20日

- ・アカデミアにおけるキャリア1。「理系のための研究生活ガイド」

●第4回:4月27日

- ・アカデミアにおけるキャリア2。「研究人生サバイバルガイド」

●第5回:5月11日

- ・企業の研究開発と大学の研究(・開発)1。「理系のためのキャリアデザイン戦略的就活術」〔第1回演習課題提出締切日〕

●第6回:5月18日

- ・企業の研究開発と大学の研究(・開発)2。「検証なぜ日本の科学者は報われないのか」

●第7回:5月25日

- ・全体の纏め。キャリア実現(そのためにすべきこと)

〔第2回演習課題提出締切日〕

授業評価アンケートへの協力について

- 出席表を回収します。
- マークシート裏面のアンケートの趣旨を読んでもください。
- 用紙の左側にある「申告番号」「複数教員連番」は今回使用しません。
- 回答終了後、入り口の箱に入れて帰って下さい。

ご苦勞様でした。